

徳島県

# 埋蔵文化財センタ一年報

Vol. 6 1994年度

1995

財団法人 徳島県埋蔵文化財センター



矢野遺跡道路構



矢野遺跡出土縄文土器

## はじめに

本書は平成6年度に徳島県埋蔵文化財センターが実施した事業の概要をまとめたものであります。

平成6年度は、前年度より行われている四国縦貫自動車道関連埋蔵文化財発掘調査（脇～美馬間）とともに、最終区間である美馬～川之江間の試掘調査にも着手いたしました。また平成4年度より行われていた徳島～脇間の整理業務も今年度で完了することができました。

一般国道192号徳島南環状線埋蔵文化財発掘調査では引き続き矢野遺跡の調査を実施しているところでありますが、弥生時代の鍛冶工房跡が発見されたことにより、徳島の弥生社会を検討する上で貴重な成果が得られました。

その他の事業といたしまして、平成7年11月に開館いたします徳島県立埋蔵文化財総合センターの展示施設の整備に伴う土器の選定・整理業務を実施いたしました。新施設は今後、県内埋蔵文化財行政の中核的な存在として、広く一般に埋蔵文化財にたいする認識を深めていただく場として活用していただければと考えております。

本書の刊行にあたり、関係各位並びに関係機関に御礼申し上げるとともに、今後とも一層の御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成7年6月

財団法人 徳島県埋蔵文化センター

理事長 坂本松雄

## 目 次

I 財団法人 徳島県埋蔵文化財センターの概要	4
II 平成 6 年度事業概要	5
III 事業報告	7
四国縦貫自動車道関連発掘調査	
鶴射遺跡	10
佐城遺跡（II）	11
田上遺跡（I）	12
田上遺跡（II）	13
田上遺跡（III）	17
試掘調査	18
一般国道192号徳島南環状線発掘調査	
矢野遺跡	27
整理業務	
四国縦貫自動車道関連整理業務	36
一般国道192号徳島南環状線整理業務	40
埋蔵文化財総合施設整備事業関連整理業務	42
IV 埋蔵文化財センターの活動	43
V 受贈図書	45

## 例 言

- 1 本書は財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成 6 年度事業をまとめた年報である。
- 2 III 事業報告に関する地形図は国土地理院発行1/50,000地形図を転載したものであり、各図に図幅名を記した。
- 3 III 事業報告の概要は各担当が執筆し、その責を文末に記した。
- 4 本書の編集は菅原・氏家が行った。

## 平成6年度 財団法人 徳島県埋蔵文化財センターの組織

### 役員

**理事長** 坂本 松雄 県教育長  
**副理事長** 佐藤 幸雄 県教育次長  
 古川 達也 県教育次長  
 藤枝 博 県教育次長  
**理事** 佐藤 功 県教育委員会総務課長  
 平林 正吉 県教育委員会義務教育課長  
 安芸 武 県教育委員会参事兼高校教育課長  
 浅香 寿徳 県教育委員会文化課長  
 坂東 章 県土木部監理課長  
**常務理事**  
**監事** 柴田 広  
 松井 健 県副出納長  
 笹川 鮎一 県監査事務局監査第一課長



### 職員

事務局長	柴田 広
総務課	
課長	小林 敬治
主事	三木 和文
臨時補助員	金平 和江 山本 成美
調査課	
課長	紀伊 司郎
主査兼	
調整係長	島巡 賢二
技術主任	酒井 彰彦
研究員	谷 恒二
研究員	小泉 信司
研究員	大北 和美
調査係長	菅原 康夫
研究員	湯浅 利彦 原田 時治
研究員	九十九 肇 久保脇美朗
研究員	早瀬 隆人 藤川 智之
研究員	藤本 好浩 氏家 敏之
研究員	佐野 耕市 原 芳伸
研究員	辻 佳伸 栗林 誠治
研究員	石本 卓 西岡 早苗
研究員	瀧山 智子 近藤 玲
研究員	山田 正之
研究員	扶川 道代 佐藤 誠二
研究員	坂東 美幸 上野 和子
研究員	平田慎一郎 森西 香
研究員	中川 富美 住友 克行
研究員	大塚 治雅 脇川 泰一
研究員	田村 静 河田 典子
研究員	佐藤 光代 横山 裕二
研究員	松田 尚悟 宮本佳代子
研究員	安芸 敦子 谷 愛
研究員	川口 順子 渡邊 旬一

## I 財団法人 徳島県埋蔵文化財センターの概要

### 1 設立の目的

財団法人徳島県埋蔵文化財センターは、徳島県内における埋蔵文化財の調査及び研究を行うとともに、文化財の保護意識の啓発、普及を図り、もって地域文化の振興に寄与することを目的とする。

### 2 事業の内容

- (1) 埋蔵文化財の調査及び研究に関する事業
- (2) 出土した文化財の整理及び保存に関する事業
- (3) 埋蔵文化財の活用及び保護意識の啓発、普及に関する事業
- (4) その他目的を達成するために必要な事業

### 3 設立年月日

平成元年4月1日

### 4 出資者

徳島県

### 5 基本財産

10,000千円

### 6 事務所所在地

徳島県板野郡板野町川端字関ノ本25番（平成7年4月10日まで）

徳島県板野郡板野町犬伏字平山86番2（平成7年4月11日より）

## II 平成6年度事業概要

### 1 理事会の開催

第21回理事会

開催日 平成6年4月1日 県庁教育次長室

議案 第1号議案 理事長の選出について

第2号議案 寄附行為の一部改正について

第22回理事会

開催日 平成6年6月23日 県庁教育次長室

議案 第1号議案 平成5年度事業報告の承認について

第2号議案 平成5年度収支決算の承認について

第3号議案 平成5年度未処分剩余金の処理について

第23回理事会

開催日 平成7年3月22日 県庁教育次長室

議案 第1号議案 平成6年度事業計画の変更について

第2号議案 平成6年度補正予算(案)について

第3号議案 平成7年度事業計画(案)について

第4号議案 平成7年度当初予算(案)について

第5号議案 組織改正に伴う寄附行為の改正について

第6号議案 組織改正に伴う諸規定等の改正について

第7号議案 安全衛生委員会設置要綱の制定について

第24回理事会

開催日 平成7年3月31日 県庁教育次長室

議案 第1号議案 役員の選出について

### 2 事業概要

徳島県からの委託により、次の事業を実施した。

四国縦貫道関連等埋蔵文化財調査

業務内容 四国縦貫道関連埋蔵文化財発掘調査業務

5町22遺跡の発掘調査を実施した。

四国縦貫道関連埋蔵文化財出土品整理業務

上喜来遺跡他33遺跡の整理業務を実施した。

一般国道192号徳島南環状線埋蔵文化財発掘調査業務

矢野遺跡の発掘調査を実施した。

一般国道192号徳島南環状線埋蔵文化財出土品整理業務

名東遺跡・矢野遺跡の整理業務を実施した。

埋蔵文化財総合施設整備事業に伴う展示用土器等の選定・整理業務

庄遺跡他23遺跡の整理業務を実施した。

### 3 収支決算報告

財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成6年度収支決算は次のとおりである。

(単位 円)

#### (1) 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較	備 考
1 県委託金	465,537,000	465,537,840	840	
2 諸 収 入	1,128,000	1,129,638	1,638	
合 計	466,665,000	466,667,478	2,478	

#### (2) 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較	備 考
1 四国縦貫自動車道 埋蔵文化財調査業務	209,574,000	209,592,640	18,640	
2 一般国道192号徳島南環状線 埋蔵文化財発掘調査業務	251,671,000	251,670,200	△800	
3 埋蔵文化財総合施設整備事業 に伴う展示用土器等の選定・ 整理業務	4,275,000	4,275,000	0	
4 その他の支出	1,145,000	1,129,638	△15,362	
合 計	466,665,000	466,667,478	2,478	

### III 事業報告

平成6年度は徳島県と平成6年4月1日付で締結した業務委託契約書に基づいて事業を実施した。

四国縦貫自動車道第10次区間（脇～美馬間）は5年度の試掘調査によって面積を確定した鶴射遺跡・佐城遺跡及び田上遺跡（I）・（II）・（III）について本調査を実施した。田上遺跡は文永四年（1267）守護小笠原長房の築城と伝えられる岩倉城の比定地であり、戦国期永禄年間（1558～1570）には三好康長の拠城として修築が加えられたとされる。田上遺跡（II）に南接した地点に本丸跡が残る。その構造は外開六坊を備える鎌倉式築城を施したもので、東から東ノ坊（觀音坊）、羅坊、丹波ノ坊、南ノ坊、北ノ坊、宝冠坊が配されていたとされるが、実態は不明である。遺跡は谷を挟んだ舌状の段丘面に広がり、城跡比定地の東西をほぼ覆う調査となった。今回の調査では戦国期の岩倉城関連遺構と考えられる空堀の一部が検出されたが、面的な構造把握にはいたらず、全体的な評価は次年度の調査にまたれる。

四国縦貫自動車道第11次区間（美馬～川之江間）42.3kmは平成4年度に県教育委員会が分布調査を実施し、平成5年9月24日付で文化庁協議が整い、39遺跡323,195m<sup>2</sup>の調査対象面積が確定している。6年度は用地取得がなされた三野町清水遺跡ほか14遺跡について試掘調査を実施し、次年度以降の本調査面積の確定に努めたが、第10次・11次区間に含め、13,624m<sup>2</sup>を実掘したにとどまる。

一般国道192号徳島南環状線関連事業では矢野遺跡の南・北地点を継続調査した。便宜上、調査地区を第1・2分割としたが、北地点の第1分割では昨年度までに調査を概成した、銅鐸を保有した弥生時代後期の集落（以後、矢野遺跡第2群居住域と呼称する）の北側に位置する集落（以後、矢野遺跡第1群居住域と呼称する）の調査に着手した。

この地点周辺は西方の四国電力国府変電所地点とともに、從来から矢野遺跡の北辺を形成する弥生時代中期の集落が展開している。調査地に東接する県立国府養護学校内では中期末から後期にかけての住居跡や溝が検出されているが、遺跡縁辺の様相を呈している。6年度成果の要点を時代をおって略述する。

第1分割では平成4年度に試掘調査で確認していた縄文時代後期包含層（現地表面下1.3～2.5m）の南縁部の精査が実施された。縄文時代の遺跡は吉野川下流域、矢野遺跡周辺では鮎喰川から眉山北麓にかけて、徳島市三谷遺跡や庄・藏本遺跡、名東遺跡で遺構や遺物包含層が認められるのみであった。今回は明確な遺構には恵まれなかったが、遺物の遺存状態はきわめて良い。今後、層位的に良好な一括資料の検出が期待されるとともに、80cmもの堆積を示す包含層や遺跡の性格を検討しなければならない。

弥生時代では中期末の鍛冶遺構が検出された。鍛冶遺構としては1981年に鳴門市光勝院寺内遺跡A調査区1号住居で確認された中期後半例に次いで2例目であるが、鍛冶炉自体の規模にはさほどの違いがない。

第1分割北端で検出された平安時代前半期の遺構群は分布密度が高く、後期阿波國府推定域の南縁を形成する遺構群としての検討も必要である。

第2分割では道路遺構の検出が特筆される。現存する東西の条里地割り方向に一致し、国分寺に至るようである。調査地点では年代を確定する資料を欠くが、道路遺構中央の円礫溝出土遺物から、おおむね平安時代初期までに収まる公算が強い。なお、道路遺跡は本県初出である。

出土品等整理業務は四国縦貫自動車道関係で前年度に執筆完了まで実施していた市場町上喜来蛭子

～中佐古遺跡他9遺跡の報告書及び小規模調査・試掘調査結果をまとめた報告書7冊を刊行し、第10次（徳島～脇間）に係る事業の完了をみた。一方、一般国道192号徳島南環状線関連整理業務に着手し、名東遺跡の報告書原稿執筆を行うとともに、矢野遺跡の整理を開始した。

この他、県立埋蔵文化財総合施設整備事業に伴い、展示資料の選定・調整を行った。（菅原）

#### 四国縦貫自動車道関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

No.	道路名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1	鶴射道路	美馬郡脇町大字北庄	104m <sup>2</sup> （試掘調査） 1,200m <sup>2</sup> （本調査）	6.5.20～6.6.3 （試掘調査） 6.4.20～6.7.31 （本調査）	旧石器時代 ○平安時代	掘立柱建物 跡・柱穴・土坑 室	ナイフ形石器 土師 器・須恵器
2	佐城道路（II）	美馬郡脇町大字脇町	620m <sup>2</sup> （本調査）	6.8.1～6.9.1	旧石器時代 ○弥生時代	掘立柱建物 跡・土坑	ナイフ形石器 織石 核・青銅土器
3	田上遺跡（I）	美馬郡脇町大字東田上	212m <sup>2</sup> （試掘調査） 661m <sup>2</sup> （本調査）	6.7.29～6.8.5 （試掘調査） 6.12.1～7.3.27 （本調査）	○弥生時代	溝	弥生土器
4	田上遺跡（II）	美馬郡脇町字西田上	186m <sup>2</sup> （試掘調査） 4,424m <sup>2</sup> （本調査）	6.8.11～6.8.30 6.9.20～6.9.27 7.3.10～7.3.15 （試掘調査） 6.9.23～7.3.31 （本調査）	○縄文時代 ○室町時代 江戸時代	掘立柱建物 跡・柱穴・土坑・溝・空堀・ 犬走り	土師器・須恵器・青磁・ 白磁・近世陶磁器
5	田上遺跡（III）	美馬郡脇町字西田上	65m <sup>2</sup> （試掘調査） 1,757m <sup>2</sup> （本調査）	6.9.5～6.9.19 6.12.1～7.3.27 （本調査）	○室町時代 ○江戸時代	掘立柱建物 跡・柱穴・土坑・溝・暗渠	瓦・輸入磁器 近世陶 磁器
6	葉筋遺跡	美馬郡美馬町芝坂字葉筋	330m <sup>2</sup> （試掘調査）	6.12.5～6.12.19	○弥生時代 ○中世・近世	柱穴	弥生土器 土師器 須 恵器 近世陶磁器
7	坊僧遺跡	美馬郡美馬町坊僧	432m <sup>2</sup> （試掘調査）	6.12.1～7.1.23	○古墳時代	瓦窓跡・溝	刺片 須恵器 土師器
8	地ノ浦遺跡	美馬郡美馬町字地ノ浦	26m <sup>2</sup> （試掘調査）	6.7.7～6.7.15			
9	清水遺跡	三好郡三野町清水字東条	692m <sup>2</sup> （試掘調査）	6.10.11～6.11.11	○弥生時代 ○中世	土坑	弥生土器 土師器 陶 磁器 近世陶磁器
10	塩塚遺跡	三好郡三野町清水字塩塚	310m <sup>2</sup> （試掘調査）	7.1.24～7.2.3	○古墳時代 近世		近世陶磁器
11	加茂野宮遺跡（II）	三好郡三野町加茂野宮字東王子	300m <sup>2</sup> （試掘調査）	7.1.20～7.1.23			
12	加茂野宮遺跡（I）	三好郡三野町加茂野宮字北王子	340m <sup>2</sup> （試掘調査）	7.1.17～7.1.19			
13	大谷尻遺跡	三好郡三野町字北原	95m <sup>2</sup> （試掘調査）	6.10.24～6.10.31	○弥生時代	土坑 柱穴	弥生土器
14	太刀野山遺跡（II）	三好郡三野町字アミダ堂	103m <sup>2</sup> （試掘調査）	6.10.4～6.10.7			
15	太刀野山遺跡（I）	三好郡三野町字孫十郎谷	450m <sup>2</sup> （試掘調査）	6.5.9～6.5.23			
16	東原遺跡	三好郡三野町大字足代	217m <sup>2</sup> （試掘調査）	7.2.20～7.3.21	○弥生時代 ○中世	土坑 柱穴	弥生土器 土師器 陶 器
17	西原遺跡	三好郡三野町大字足代	157m <sup>2</sup> （試掘調査）	7.2.20～7.3.17	○弥生時代	土坑 柱穴	弥生土器・石器・近世 陶器
18	土井遺跡	三好郡三野町大字登間	140m <sup>2</sup> （試掘調査）	7.3.2～7.3.15	○古代 ○中世		土師器 須恵器 銘造 開遺物
19	お塚古墳	三好郡池田町字トウガ	354m <sup>2</sup> （試掘調査）	7.1.19～7.2.10	○中世	土坑・溝	土師質土器 瓦器
20	供養地遺跡	三好郡池田町字ヤウジ	111m <sup>2</sup> （試掘調査）	6.12.5～7.1.18	○中世	集石遺構	土師質土器 瓦器
21	山田遺跡（II）	三好郡池田町字ヤマダ	285m <sup>2</sup> （試掘調査）	6.6.6～6.8.24 6.11.15～6.11.17	○中世	土坑	土師質土器
22	山田遺跡（I）	三好郡池田町字ヤマダ	53m <sup>2</sup> （試掘調査）	6.9.5～6.9.12 6.11.22～6.11.30	○绳文時代 ○中世		绳文土器 土師質土器

◎主体となる時期

一般国道国道192号徳島南環状線埋蔵文化財発掘調査業務一覧

No	遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1	矢野遺跡	徳島市国府町矢野	8,582m <sup>2</sup>	6.5.15~7.2.20	○繩文時代 ○弥生時代 ○奈良時代 ○平安時代	壁穴住居跡 獨立柱・埴輪・溝・自然流路	縄文土器・弥生土器 土器・須恵器・瓦質土器

◎主体となる時期

四国縦貫自動車道関連埋蔵文化財出土品整理業務一覧

No	遺跡名	所在地	整理箱数	整理期間	時代	遺構	業務内容
1	上喜来遺跡他 33遺跡	阿波郡市場町大俣 字山路他	168箱	6.4.1~7.3.31	旧石器時代 ~室町時代	古墳・土坑など	報告書原稿の執筆まで

一般国道192号徳島南環状線埋蔵文化財出土品整理業務一覧

No	遺跡名	所在地	整理箱数	整理期間	時代	遺構	業務内容
1	名東遺跡	徳島市名東町1丁目	200箱	6.4.1~7.3.31	旧石器時代 繩文時代 ○弥生時代 ・古代	壁穴住居跡 土坑調	報告書原稿の執筆まで
2	矢野遺跡	徳島市国府町矢野	250箱	6.4.1~7.3.31	○弥生時代 古墳時代 古代 中世	壁穴住居跡 青銅器埋納坑・土坑溝	遺物の基礎整理まで

◎主体となる時期

埋蔵文化財総合施設整備事業に伴う展示用土器等の選定・整理委託業務一覧

No	道路名	所在地	復元個体数	整理期間	時代	業務内容
1	庄遺跡他	徳島市藏本町他	300個体	6.12.1~7.3.31	繩文時代~室町時代	遺物選定 土器復元 着色



発掘調査地

# つる 鶴 射 遺 跡

所 在 地 美馬郡脇町大字北庄字鶴射1212—1他

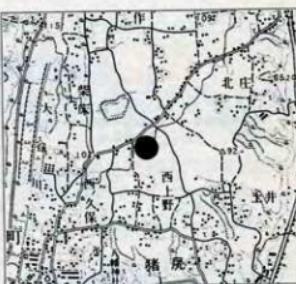
調査期間 1994年6月4日～7月31日

担当者 久保脇 石本 九十九

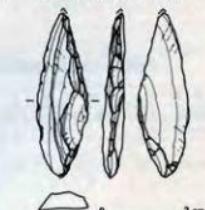
**調査概要** 本遺跡は阿讃山脈南麓に形成された小規模な段丘上に位置しているが、遺跡周辺は浸食が進み、深い谷が切れ込んで舌状の地形を呈している。調査区は南北に延びる段丘の緩斜面上に設定されており、東側は谷に向かって大きく落ち込んでいる。

**検出遺構** 今回の調査では掘立柱建物跡1棟のほか、土坑4基、炭窯3基が検出された。調査区中央部やや南寄りで検出された掘立柱建物跡は梁間1間、桁行3間の南北棟で、柱の間隔は梁間間が2.7～2.8m、桁間間が2.1～2.5mを測る。柱穴は直径20～30cm、深さ20～40cmの大きさの円形のもので、柱穴からは摂津C2型の土釜が出土していることから10世紀代に属すると考えられる。また他の土坑や炭窯からも8～10世紀代の須恵器壺や土師器皿、黒色土器碗が出土している。包含層中からの遺物の出土は多くはなかったが、旧石器時代の遺物として、サヌカイト製の国府型ナイフ形石器とスクレイバーが1点ずつ出土している。

**まとめ** 今回の調査で検出された遺構は、出土した遺物からみておむね10世紀代に属するものと考えられる。このことからみて、掘立柱建物跡と炭窯跡を中心とする遺構群は、平安時代中期の比較的短時間に形成された集落跡とみてほぼ間違いないものと考えられる。一般的に10世紀代以降は、それまでの律令制が崩壊する過程で新田開発が行われ、山林原野から公田・荘田が生み出された時代と考えられている。本遺跡はこのような時代背景をもとに形成された集落であった可能性が高いといえよう。(久保脇)



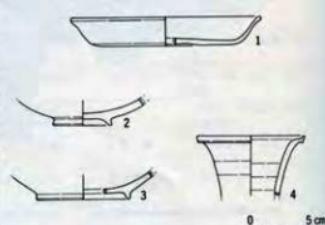
1 調査地点の位置(脇町)



2 旧石器時代の遺物



3 SA1001 出土土器(羽釜)



4 遺構出土土器(土器器1, 黒色土器2・3, 須恵器4)

## 佐城遺跡(II)

所在地 美馬郡脇町字東城山1683—2他

調査期間 1994年8月1日～9月22日

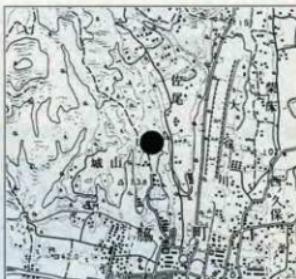
担当者 久保脇 九十九 石本 山田

**調査概要** 本遺跡は阿讚山脈南麓に形成された小規模な段丘上に位置し、東側に位置する北の庄の段丘とは山脈から流れ出す大谷川によって隔てられている。遺跡周辺の段丘面は浸食が進み、深い谷に区切られた舌状の地形を呈している。遺跡は南北方向に延びる尾根の東側の緩斜面に位置し、調査区の東側は谷に向かって大きく落ち込んでいる。

包含層中からは主に弥生時代の土器と石器類が出土している。土器はいずれも凹線文が多用される中期後半のものである。調査区内からは掘立柱建物跡1棟、土坑11基、柱穴7基が検出されるとともに、旧石器時代終末期の遺物である小型のナイフ形石器と細石核が出土している。

**掘立柱建物跡** 比高が最も高い調査区西側で検出された遺構である。検出できたのは南西から北東方向に並んだ、3基の柱穴からなる梁間2間分と考えられる部分だけで、遺構の大半は西側の調査区外に延びている。柱穴の直径はいずれも50cm前後、深さは20～30cmで円形を呈し、柱間の長さは2.1～2.2mを測る。柱内には縄が意図的に置かれており、出土した土器は中期後半のもので占められている。

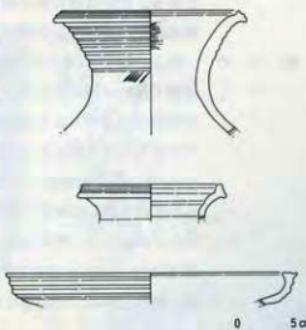
**まとめ** 本遺跡は城山遺跡として知られている弥生時代の遺跡に隣接しているが、その内容はこれまで不明瞭であった。今回の調査で弥生時代中期後半の時期の遺構や遺物が出土したことで当地域の弥生遺跡の年代の一端が明らかになったといえる。また細石核は本県初の出土例として注目されるものである。(久保脇)



1 調査地点の位置(脇町)



2 旧石器時代の遺物



3 包含層土器出遺物(弥生土器)

# たねえ 田上遺跡(I)

所在地 美馬郡脇町東田上530他

調査期間 1994年12月1日～1995年3月27日

担当者 原 近藤 大北

**調査概要** 本遺跡は吉野川北岸の標高115～125mの河岸段丘上に位置する。新町谷川をはさんで調査区の西側に、中世の山城とされている岩倉城がある。『日本城郭体系』によると、岩倉城の六坊(望楼)の一つ「東の坊(観音坊)」の比定地である。調査前は観音坊に関連する遺構の検出が予想された。しかし調査の結果、弥生時代中期後半から後期初頭にかけての溝状遺構と土坑、柱穴が検出された。

**溝状遺構** 調査区を北東から南西方向に縦断し、最大幅SD1001 8m、深さ約0.5mの断面逆台形を呈する溝状遺構である。調査区内では全長44mを測り、調査区南側に続くと推定される。なお、北側は削平を受けた可能性もある。遺物は壺、甕、高杯など弥生土器片と結晶片岩製石庖丁、サヌカイト製打製石鐵、剝片などが出土した。土器で完形のものは出土していない。土質の関係で土器の遺存状況は悪いが、著しく磨滅したものは少量である。遺物は西に若干偏りがあるものの広範囲にわたって出土している。

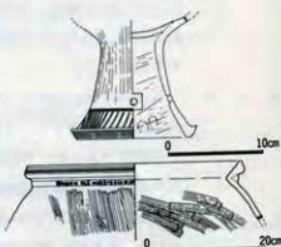
**まとめ** 調査の結果、「東の坊(観音坊)」に関連する遺構・遺物は検出されなかった。調査区の傾斜角度が急なこと、また調査区のすぐ北西に観音堂がありその北側にやや平坦面が広がることから、「東の坊(観音坊)」は調査区外に推定される。また、周辺の地形や溝状遺構の周囲で住居跡などが検出されていないことから、調査区の近辺に弥生集落が存在した可能性が指摘できる。溝状遺構はこの集落に付随するものと考えられる。(大北)



1 調査地点の位置 (脇町)



2 SD1001 全景



3 出土遺物

## たねえ 田上遺跡(II)

所在地 美馬郡脇町西田上663他

調査期間 1994年12月7日～1995年3月27日

担当者 久保脇 石本 山田

原 近藤 大北

**調査概要** 本遺跡は吉野川北岸標高102～105mの河岸段丘上に位置し、段丘内を流れる中小の河川によって縁辺部が浸食され、北から南に向かって延びる細長い舌状地形を呈する。南端は吉野川の沖積地との比高差が30mに及ぶ垂直に近い段丘崖が形成され、天然の要害となっている。本遺跡は、伝承や古記録等からほぼ岩倉城の中核部分を占めていたと考えられる地点に位置する。調査区のほぼ中央には一段小高い南北方向に延びる尾根上の先端に岩倉城本丸跡が残されており、その両側の段丘面上は北から南に向かって緩やかに傾斜する比較的平坦な地域となっている。

岩倉城は、このような地形を巧みに利用して築かれた山城である。現在、真楽寺に残された記録によれば、城は本丸の周辺に東の坊（観音坊）・西の坊（宝冠坊）・南の坊・北の坊・丹波坊・羅の坊の六坊が配されていたとされる。

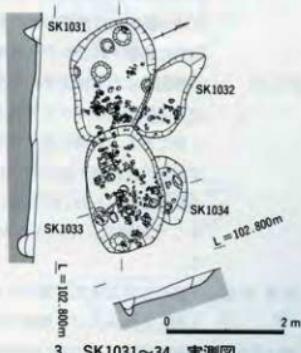
**東部地区** 今回の調査は、この岩倉城本丸跡がある中央の尾根寄りの東側の地区について調査を行った結果、掘立柱建物跡に伴うと考えられる柱穴が600基近く検出されたほか、物の廃棄を目的としたり、墓のために掘られたと思われる数十基の土坑、溝数条が検出された。今後検討を要するが数棟の掘立柱建物が存在していたものと考えられる。また削平をうけている尾根よりの斜面には本丸の周囲に設けられている犬走りと考えられる遺構が確認されている。主な遺物には土師質土器の杯・皿や輪



1 調査地点の位置(脇町)



2 遺構出土状況



3 SK1031～34 実測図

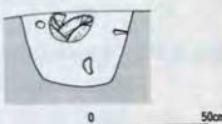
入磁器、備前、常滑などの国内産陶磁器のか、讀岐西村窯須恵器碗などが出土している。

**土 坑** 遺物の廃棄を目的として掘られたと考えられる不整形の土坑で、遺構の中からは土師質土器の杯・皿類が多量に出土している。遺構の時期は土師質土器の製作技法や形態と、相伴した青白磁の小壺の蓋から、おそらく12世紀後半の時期に属すると考えられ、遺構の年代と文献に記載されている1267年の岩倉城の成立年代とは若干のずれが存在する。尾根を挟んだ西部地区では、これより若干新しいが13世紀前半代の遺構が検出されており、小笠原長房による築城以前の段階で、すでに段丘上の比較的広い範囲で集落が形成されていたことを物語る資料ではないかと思われる。また、今回のように12世紀後半代の土器がまとまって出土した例は吉野川中流域では初めてで、同時期の吉野川下流域の出土遺物と比較する上で重要な資料になるものと考えられる。

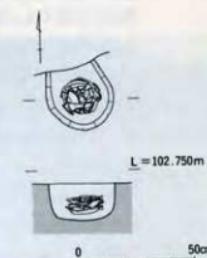
**SP1155** 長軸50cm、短軸42cm、深さ32cmの楕円形のピットである。遺構内埋土は一層で柱痕は確認できなかった。遺構の埋土中から14世紀代の完形の土師質土器の杯が5点重なり合った状態で出土したほか、土師質小皿1点、かすがいと思われる鉄製品1点が出土した。これらは一般的には地鎮などの祭祀に関連して意図的に埋納されたものと考えられる。

**SP1228** 調査区北部で検出された長軸28cm、短軸26cm、深さ16cmのピットである。遺構内埋土は1層である。遺構の埋土中から14世紀代のはば完形の土師質土器の皿が10枚以上口合わせの状態で出土した。SP1155と同様、祭祀に関連して意図的に埋納されたものと考えられる。

**西部 地 区** 西部地区は本丸が築かれている尾根に沿って深く切れ込んだ小規模な谷の谷頭部分周辺の緩斜面と、この谷の西側の舌状の段丘面の



4 SP1155 実測図



5 SP1288 実測図



6 遺物出土状況 (青白磁)

平坦部に分けられる。どの地点でも遺構の中心を占めるのは掘立柱建物に伴う柱穴群であるが、なかには遺跡の年代や城の成立を考えるうえで重要な遺構が検出されている。

#### 掘立柱建物跡

SA1001

本丸の築かれた尾根の西側の緩斜面に隣接して検出された遺構である。この2棟の掘立柱建物はともに斜面の一角をコの字形に区画し、内部を整地して作りだした平坦面に建てられている。本県の場合、このように斜面を整地した後に掘立柱建物を建てた例は、同じような立地条件の中世集落の調査でも現在までのところ検出例は見あたらない。この遺構からの遺物の出土点数は少ないが、いずれも12世紀末から13世紀初頭に位置づけられる土師器の杯・小皿・脚付き土鍋などが出土している。なかでも注目されるのはこのなかに讃岐西村窯産の13世紀初頭の高台付きの須恵器碗が出土していることである。西村窯産あるいは西村窯系と呼ばれている須恵器碗は吉野川流域の他の中世遺跡でも僅かながら出土しているが、1遺跡からまとまって出土したのは、今回の調査が初めてである。

#### 空 堀

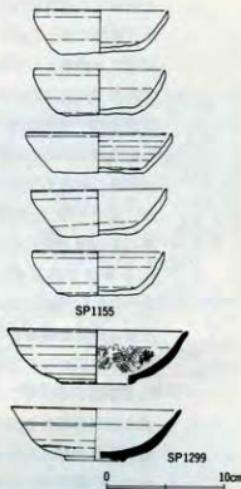
SD1009

今回の調査では遺構の大部分が未調査の状態のため詳細は不明であるが、検出された遺構の堀り込みから推定すると、南北方向にまっすぐ延びた幅6m前後の規模の遺構と考えられ、大きさや位置などから城の曲輪を区画した空堀の可能性が高い。出土遺物は土師器の土釜の破片5個体分と備前焼の甕の胴部2点のみで、備前焼の年代は不明であるが、土釜はおおよそ16世紀から17世紀代にかけてのものと考えられている。出土遺物の年代が妥当なものとすれば、永禄年間に三好康長によって始められたと伝えられる本格的な岩倉城の整備にともなって構築された遺構である可能性が高く、今回の調査のなかでは唯一岩倉城と関連づけられる遺構である。

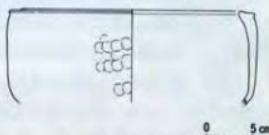
#### ま と め

本遺跡は岩倉城本丸跡部分に最も近く、城

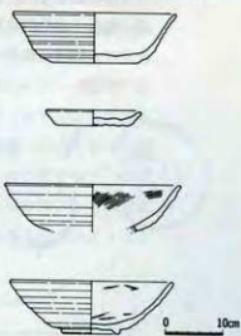
9 SA1001 出土土器（土師器・須恵質土器）



7 出土遺物



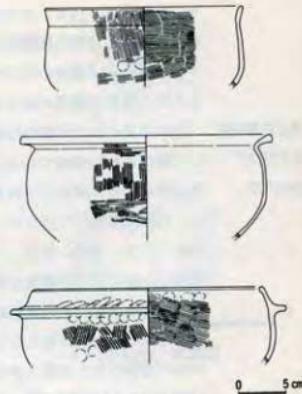
8 SD1009 出土土器（土釜）



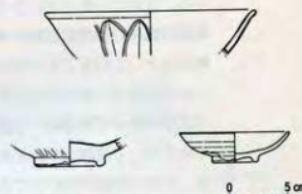
に關係する遺構検出の可能性の高いと考えられる遺跡であったが、調査の結果、岩倉城に関連する遺構として考えられるものは、調査区西側で検出された犬走りの痕跡と思われる段状遺構や空堀のみであった。

岩倉城は文献の記録によれば1267年、当時の阿波の守護小笠原長房の守護所設置に始まり、永禄年間、三好康長によって本格的に修築の手が施され今日のような姿に成了ったとする遺跡であるが、出土遺物を見る限り12~13世紀代前半のように小笠原氏の守護所設置の時期を遡るものが多く、実際には守護所設置以前からすでに集落などの生活の場として機能していたことが考えられる。また、調査区内各所から出土した白磁皿や備前焼の摺り鉢から与えられる年代を通して、文献では空白の期間である14~15世紀代にも遺跡が継続していることも、城跡とされてきたこの遺跡の性格を再考するうえで注目される。出土遺物の中には、吉野川下流域の中世遺跡で一般的にみられる和泉型瓦器碗が殆ど出土しておらず、そのかわりに西村窯須恵器碗が県内の他の中世遺跡と比較してまとまって出土しており、該期の商品流通圏を考えるうえで非常に興味深い。

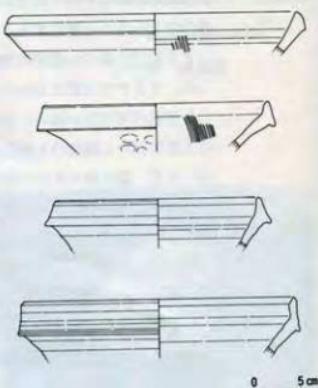
今回の調査では、調査区が四国縦貫自動車道の建設予定地内に限定されていることから岩倉城の規模を推測できる成果をあげることはできなかったものの、検出された遺構から本丸周辺にとどまらず今回の調査区の北側の段丘面を含む広い範囲が本来の城の範囲であったことが予想され、今後この周辺での調査などによって岩倉城の詳細がさらに明らかにされるものと思われる。(久保脇・原)



10 SA1001 出土土器（土鍋・土釜）



11 包含層出土土器（輸入陶磁器）



12 包含層出土土器（備前焼）

## たねえ 田上遺跡(III)

所在地 美馬郡脇町西田上

調査期間 1994年12月1日～1995年3月31日

担当者 原 近藤 大北

**調査概要** 本調査地は、田上遺跡(II)と滝下谷をはさんだ西側、舌状にのびる段丘上に位置する。南北に走る道路を境にして、西側を1区、東側を2区と便宜上に分割して調査を行った。1区に関して南側2/3は、近世に盛土が施され、多くの遺構が存在していた。したがって、第1遺構面は近世、第2遺構面は中世と2枚の遺構面の調査が必要となり、今年度は第1遺構面の調査を行った。2区は盛土がなく、中近世の遺構が同一遺構面上で検出された。

**第1調査区** 溝17条、土坑20基、ピット95基が検出された。主な遺構は排水溝(SJ1001)、掘立柱建物跡(SA1001)である。SJ1001は全長27m、最大幅1.2mで江戸時代後期の暗渠である。SA1001は、2間×7間の掘立柱建物跡で、柱穴間の距離は、2.1m前後、建物の規模は、東西14.7m、南北4.2mをはかる。時期は平瓦の破片が1点出土したのみで特定は難しいが、近世の盛土の上に建っていることや、付近に近世の土坑や溝が存在することから、江戸時代のものと考えられる。

**第2調査区** 溝13条、土坑7基、ピット137基が検出された。1区に比べて遺物の量は少なく、性格の不明な遺構が多い。

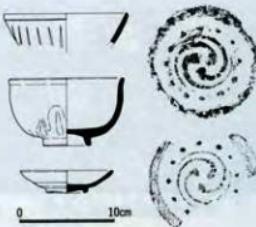
**まとめ** 今回の調査で、1区において、近世の遺構が多く見つかったことは、予期せぬことであった。本調査地は文献によれば、中世山城の岩倉城に関連する宝冠坊があったとされる。近世の盛土の下に拡がる中世の遺構面で、文献記載の建物跡が発見されるか今後の調査に期待したい。(近藤)



1 調査地点の位置(脇町)



2 SA1001 全景



3 出土遺物

# 試掘調査

所在地 発掘調査一覧表参照

調査期間 1994年4月1日～1995年3月31日

担当者 久保脇 谷 九十九 藤本 潤山 小泉 山田 原田 栗林 大北 佐藤

**鶴射遺跡** 阿讚山脈南麓の曾江谷川と大谷川に挟まれた標高100m前後の河岸段丘面上のほぼ中央に位置している。本来は調査対象区域外であったが、隣接する地域で平安時代の遺構、遺物が発見されたため、遺跡の広がりをおさえるために試掘を実施した。調査の結果、遺物、遺構とともに全く発見できなかった。(久保脇)



1 田上遺跡 (I) トレンチ完掘状況

**田上遺跡** 新町谷川の東側に面した標高110～125mの

(I) 段丘上に位置する。東側は南に向かう緩やかな傾斜地だが、西側は南西に向かう急傾斜地である。現状は段々畠と水田である。西側及び宅地跡については、削平が著しく、包含層・遺構等検出されず、本調査の必要は認められない。東側については東部トレンチにおいて弥生土器と石包丁を出土、この部分については本年度に本調査を実施した。(九十九)



2 田上遺跡 (II) 遺構検出状況

**田上遺跡** 新町谷川の西側に面した標高110～105mの

(II) 段丘上に位置する。中央部南側に「岩倉城跡」を臨む南に向かう緩やかな傾斜地、東側は急崖で新町谷川に、西側は急崖で谷に落ち込み、それぞれ田上(I)・田上(III)につながって



①田上遺跡 (I) ②田上遺跡 (II) ③田上遺跡 (III)

3 調査地点の位置 (脇町)

いる。現状は段々畑と水田である。「岩倉城」関係の「曲輪」にのっている可能性が指摘されている。西側で一部包含層が残っていない箇所もあるが、試掘調査にて遺構・包含層を検出。本年度に本調査を実施した。(九十九)

**田上遺跡** 谷を挟んで田上(II)の西、標高105m前後

(III) の河岸段丘上に位置する。東西は小河川によって深く開削され急崖となっている。現状は段々畑だが、本来は南に向かう緩やかな傾斜地である。「岩倉城跡」関係の「宝冠坊」の可能性が指摘されている。東側で、包含層・遺構を検出、昨年度の試掘調査と併せて、東側について本年度に本調査を実施した。

(九十九)

**薬師遺跡** 野村谷川の西側に面した標高107~113mの段丘上に位置する。南に向かう緩やかな傾斜地で東側は急崖となって野村谷川の扇状地につながり、北西側は急傾斜で一段高い台地につながる。現状は段々畑と水田である。分布調査により弥生~中世の遺跡の可能性が指摘されている。全体として開墾時にかなりの削平を受けており、特に東側については近現代の攪乱も多い。西側と東側の一部において、遺構構築面の状態は悪いが、中世の包含層・遺構等検出した。(九十九)

**坊僧遺跡** 坊僧遺跡は野村谷川から鍋倉谷川にかけて(柴板地区)の隆起扇状地と河岸段丘上に展開する遺跡群である。坊僧遺跡柴板地区は野村谷川西方の標高120m前後の河岸段丘上に位置する。当該地の東部分は薬師遺跡と同じ河岸段丘上に位置し、西側はそれよりも一段高い小尾根上に展開する。現状は宅地と田畠である。東側段丘上及び西側尾根上ともに遺構は検出されなかつたが、須恵器・土器等が出土し、包含層及び遺構構築面が確認された。(栗林)

(中黒地区) 柴板地区の小尾根と坊僧地区の隆起扇状地に挟まれた標高135m前後の谷部に位置する。対象地中央部には土器谷と呼ばれる谷があ



4 田上遺跡(III) 調査状況



5 薬師遺跡調査前風景



6 薬師遺跡出土遺物

り、谷の両側に広がる緩傾斜地が対象地である。現状は宅地と田畠で、山側からの湧水が激しい。土器谷より西側の地区において溝が検出され、遺構内より備前の攝鉢片が出土した。時期は15世紀後半である。(栗林)

(坊僧地区) 野村谷川西方の標高155m前後の高位段丘上最頂部の坊僧池北岸から丸山山麓にかけての緩傾斜地に位置する。当遺跡は從来より坊僧古窯跡群として知られており、数度に渡って磁気探査による確認調査もおこなわれ窯跡が確認されている。今回の試掘調査でも長さ5.3m、幅1.4mの窯跡が検出された。田地造成の際に包含層は一部削平されており、遺存状態は良好ではない。(栗林)

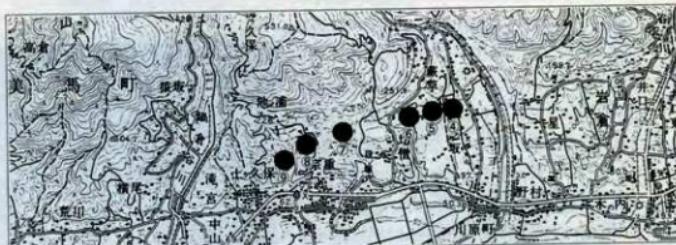
(東段地区) 坊僧地区より急崖を挟んで西側の標高149~160mの段丘上に位置する。対象地は段丘の付け根にあたり、比較的緩やかな傾斜地に展開する。現状では東側は桑畠と果樹園に、西側は田地である。東側は比較的旧地形を残しているが表土直下より山側からの押し出し土と岩盤が堆積しており、遺構・遺物等は検出されなかつた。一方、西側の田地では改変が著しく、耕作土の下には客土が盛られているが、その下には4層に分層できるシルト質土層が厚さ20~50cmに渡って堆積している。このシルト質土層内よりサヌカイト剝片1点、チャート剝片2点が出土した。時期は旧



7 坊僧遺跡（坊僧地区）遺構検出状況



8 坊僧遺跡（東段地区）調査対象地遠景



④豪師遺跡 ⑤坊僧遺跡（芝坂地区） ⑥坊僧遺跡（坊僧地区）

⑦坊僧遺跡（東段地区） ⑧坊僧遺跡（西段地区） ⑨池ノ浦遺跡

9 調査地点の位置（駒町）

石器時代と考えられる。(栗林)

(西段地区) 東段地区より急崖を挟んで西側の標高140m前後の段丘上に位置する。対象地は比較的緩やかな傾斜地である。東側は果樹園のために旧地形を残すが、中央部及び西側は田地に改変されている。耕作土の下は岩盤まで田地造成用の客土が盛られていたり、直下より地山が検出された。包含層及び遺構は検出されなかった。(栗林)



10 池ノ浦遺跡土層断面

池ノ浦遺跡 標高130～150mの狭い尾根上に位置する。南に向かう緩やかな傾斜地で、東西は急崖である。包含層・遺構等は検出されず、本調査の必要は認められない。(大北)

清水遺跡 標高135～165m前後の隆起扇状地上に位置する。東側は平坦だが、西側は急傾斜である。現状は段々畑である。分布調査により弥生から中世にかけての遺跡の可能性が考えられている。また調査区のすぐ北側に「清水城跡」と考えられる小高い丘がある。西側は流れ込みと思われる土器を出土したが、包含層・遺構等は検出されず、本調査の必要は認められない。東側において、表土直下に弥生時代の包含層・遺構等を検出した。(九十九)



11 清水遺跡遺物出土状況

塩塚遺跡 加茂野宮・塩塚の滝谷の扇状地の扇頂部に位置する。南西に向かう緩やかな傾斜地で、北東に円錐状の塚（丸山神社「古墳か」三野町誌記載）がある。塚及び塚の西側の一部を



除いて、すべて疊層であり、遺構・遺物を検出せず、本調査の必要を認められない。塚の西側の一部において近世の遺構面・遺物を検出した。今後試掘できていない塚及び塚東側の試掘調査を実施し、塚の西側の一部も併せて、総合的に判断する必要がある。(九十九)

**加茂野宮** 加茂野宮・塩塚の滝谷の扇状地の扇頂部に遺跡（II）位置する。南に向かう緩やかな傾斜地である調査地は、全て疊層が堆積しており、遺構・遺物は検出されず、本調査の必要は認められない。(九十九)

**加茂野宮** 加茂野宮・塩塚の滝谷の扇状地の扇頂部に遺跡（I）位置する。南に向かう緩やかな傾斜地である調査地は、全て疊層が堆積しており、遺構・遺物は検出されず、本調査の必要は認められない。(九十九)

**大谷尻遺跡** 通称「館山」と呼ばれる吉野川北岸の北から南に向かって緩やかに傾斜する山頂平坦部に位置する。標高は135～145mを測る。現況は畠、原野である。分布調査では弥生土器片・石鏃・紡錘車等が表採されている。この遺跡は徳島県埋蔵文化財包蔵地533号に指定されている。試掘調査の結果、すべてのトレンチより弥生時代中期後半の土器片が出土し、包含層と遺構面が確認された。高地性集落と考えられる。(小泉)

**太刀野山** 吉野川に向かって南流する堂の谷川によって形成された扇状地の西岸側扇頂部に位置する。標高は77～89mを測る。現況は畠、原野である。全てのトレンチにおいて堂の谷川の堆積作用の影響が認められ、砂層と疊層が互層に堆積していることが確認された。包含層遺構等は検出されなかったことや、堂の谷川の堆積作用から考えると、今回の試掘調査対象地内において遺跡が広がる可能性は低いと想定される。(小泉)

**太刀野山** 吉野川に向かって南流する孫十郎谷川によって形成された比較的小型の扇状地の扇頂部



13 塩塚遺跡土層断面

東原



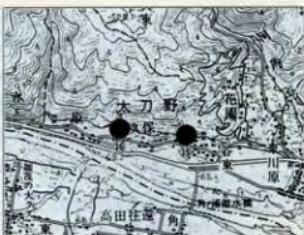
14 加茂野宮遺跡（I）土層断面



15 大谷尻遺跡調査状況

に位置する。標高は78~93mを測る。現況は果樹園である。分布調査では土師器、須恵器、瓦器等の中世遺物が表探されている。しかし試掘調査の結果、東側が孫十郎谷川の堆積作用による砂層と疊層が互層に堆積し、西側は吉野川北岸用水工事に伴う擾乱を受けていることが確認された。包含層・遺構構築面等の安定した土層は検出されなかった。本調査の必要性は認められない。(小泉)

**東原遺跡** 東原遺跡は、吉野川上流北岸の三好町の東端に位置し、黒川原谷川により形成された扇状地の南端に展開する。標高は79m前後で、すぐ南側には吉野川が流れている。既調査により足代東原遺跡では弥生時代終末から古墳時代初頭にかけての積石墓が検出されている。また分布調査では中世遺物も表探されている。調査対象地東部の扇端部では耕作土直下より中世のピット等の遺構が検出された。備前産大甕片や羽釜が出土しており、時期は15世紀である。包含層は削平を受けているが、遺構面にはその影響は認められない。また、黒川原谷川の一支流を望む低位段丘（旧河川縁辺部）にあたる対象地西部からは弥生時代の遺構と遺物を検出した。一方、対象地中央部にあたる扇尖部においては、中世の遺構面及び弥生時代遺構面に対応する土層は検出されたが、遺構・遺物は一切検出できなかった。今回の試掘調査では対象地東部と西部は本調



16 調査地点の位置（池田）  
⑯太刀野山遺跡（II）  
⑯太刀野山遺跡（I）



17 東原遺跡遺構検出状況



18 調査地点の位置（池田）  
⑰東原遺跡 ⑱西原遺跡 ⑲土井遺跡

査の必要がある。しかし諸条件により試掘調査未実施箇所があり、遺跡の範囲は確定できていない。次年度以降、再度試掘調査を実施し、本調査範囲を確定する必要がある。(栗林)

**西原遺跡** 三好町東部の吉野川左岸で、黒川原谷川により形成された扇状地の扇端部に位置する。小さい谷で削られているところもあるが、おおむね平坦である。周辺に足代東原遺跡もあり、弥生時代の遺跡の可能性が指摘されている。小さい谷を挟んだ東側において、表土直下にて弥生時代の遺構・遺物を検出した。中央部では近代の擾乱が多く、西側では弥生時代の遺物は出土するものの、包含層・遺構は確認できない。未調査部が多いので、今後、未調査部において試掘調査を行い、東側の遺跡の広がり、及び他の部分について、総合的に判断する必要がある。(九十九)

**土井遺跡** 土井遺跡は吉野川北岸、黒川原谷川と小川谷川によって形成された複合扇状地の中央扇端部に位置する。標高95~97mを測る。当遺跡は弥生時代の遺跡として知られ、周辺には円通寺遺跡、西貝川遺跡、正力遺跡、大柿遺跡等が所在する。今回試掘調査を実施したのは対象地の中央部付近のみである。調査実施地区東側では瓦器片が出土し、遺構面と想定される安定した土層も検出された。このトレンチより東に向かって中世の遺構面が広がる可能性がある。西側では鋳造関連遺物や須恵器片が出土した。時期は古代から中世にかけてである。西側に向かって遺構面が広がる可能性が高い。一方、中央部では砂礫層が確認され旧河川と想定される。今後、未調査地区において試掘調査を実施後、遺跡の範囲を確定する必要がある。(小泉)

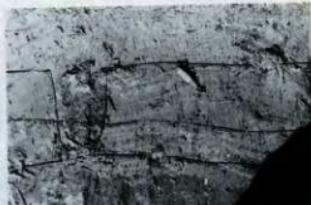
**お塚古墳** 調査対象地は吉野川南岸上流域の標高109~130mの河岸段丘面に位置する。対象地は南北に延びた大山谷とトウゲ谷に挟まれた段丘面上にあり、北西に向かって緩やかに傾



19 西原遺跡遺物出土状況



20 西原遺跡出土遺物



21 土井遺跡土層断面

斜している。現況は畑、水田、宅地である。「お塚さん」と俗称されている塚のうち、2基は古墳と確認されている。調査の結果、山裾にあたる東南側は田地造成の際に深く包含層まで削平を受けている。しかし、遺構面は遺存しており、溝、土坑、ピット等が検出され、遺構内より中世後半の瓦器碗等が出土した。一方、西側と北側では旧谷筋と考えられる堆積や岩盤が確認された。(小泉)



22 お塚古墳遺構検出状況

**供養地遺跡** 吉野川南岸上流の河岸段丘面に位置し、標高118~130mほどの北に向かって緩やかに傾斜する地形を呈する。対象地内東側には名子谷が位置する。西法寺跡所在の可能性があることや分布調査の成果から、試掘調査対象地を一部変更して調査をおこなった。その結果、名子谷周辺は谷の堆積作用や擾乱が認められ、包含層・遺構等は検出されなかった。しかし、名子谷より西側の対象地内では、包含層は削平や擾乱を受けている箇所もあるが中世の石組遺構や土坑が検出された。(小泉)



23 供養地遺跡調査状況

**山田遺跡** 調査対象地は吉野川南岸の河岸段丘面に位置し、標高107~114mの北に向かって緩やかに傾斜する地形を呈する。ただ、西側には調査区を分断する形で南北に谷筋が走り、やや急傾斜する。また東側は稜線的地形を呈する。大部分のトレンチにおいて田地造成時に客土が盛られたことが確認された。また、遺物のほとんどは客土中より出土したものである。

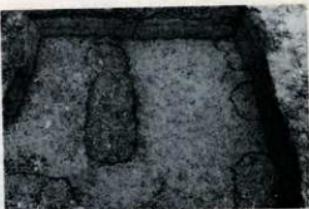


24 調査地点の位置(池田)

しかし、対象地東側平坦地では一部削平を受けてはいるものの中世の包含層及び遺構が検出された。(小泉)

### 山田遺跡

(1) 調査対象地は、四国山地の一部分が北に張りだした尾根の北面に位置し、島山谷川に沿った標高150~170mの山麓部の北面に所在する。また山麓部の西側急斜面には一枚岩が大きく張り出して庇状の景観を呈する箇所がある。山麓部北面の傾斜地では、土層は安定しているが包含層及び遺構面は検出されなかつた。また地形的条件より遺跡が存在する可能性は低いと考えられる。一方、西側の庇状に張りだした岩陰からは時期不明の土器細片が出土した。明確な遺構は検出されなかつたが、岩陰遺跡である可能性は非常に高い。(小泉)



25 山田遺跡（II）遺構検出状況



26 山田遺跡（I）岩陰調査前風景

# 矢野遺跡

**所在地** 徳島市国府町矢野字せんだんの木452-1他  
**調査期間** 1994年5月17日～1995年2月20日  
**担当者** 湯浅 栗林 藤本 瀧山（第1分割）  
 原 西岡 近藤 湯浅 山田  
 原田（第2分割）

**調査概要** 鮎喰川下流左岸の沖積地に位置し、弥生時代を中心とする県下最大級の遺跡である。昨年度までの調査では、弥生時代後期～終末期にかけての総計44軒の竪穴住居跡をはじめ、多数の遺構を検出し、河川で区切られた南北延長約500mの範囲に集落がひろがることが判明した。そして、矢野銅鐸の埋納地点は集落のほぼ中央部であることが明らかとなった。

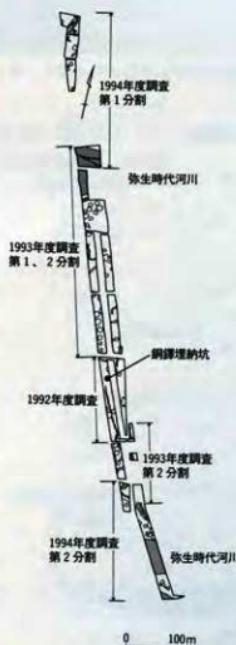
今年度は、昨年度調査区の北側に続く調査区を第1分割とし、南に続く部分を第2分割として調査を展開した。遺構番号は、便宜上それぞれの分割で独自に番号をついている。成果について、以下に概要を述べる。

**第1分割** 第1分割北端の調査区は、徳島市教育委員会が行った国府域範囲確認調査における推定域の南100mに位置する。古代の遺構が集中している部分は調査区の北東隅、東西20m×南北37.5mの範囲である。範囲内には大量の遺物を含むした厚さ10～15cmの層があり、遺物は8世紀代から10世紀前半の年代幅がある。この層は整地層である可能性が高く、整地層上面に掘立柱建物等が構築されていたと考えられる。しかし、整地層上面での遺構検出が困難であったので、整地層を除去した状態で遺構を把握した。方形プランをもつものを中心にピット約400基が集中し、掘立柱建物跡18棟、柵列1列等を構成している。整地層形成前に構築されたと考えられる竪穴住居跡20軒、溝12条なども検出された。

**掘立柱建物跡** 掘立柱建物跡の主軸方位はN7°～10°Wを基



1 調査地点の位置 (川島)



2 調査区配置図

準としている。柱間距離は規模によって2~2.35mを測る。柱穴などの出土遺物から9~10世紀代前半の年代が考えられる。

**溝 SD1008** 溝 SD1008は、幅0.75~1.7m、深さ32cm、断面逆台形、検出部分の長さは13.8mを測る。焼土塊を含む遺物の集中する部分がみられた。

**鍛冶炉** 鍛冶炉が2基検出されている。いずれも円形を呈する小型の炉で、1基は51×44cm、もう1基が検出部分径58cmである。ほかに径24cm、深さ26cmのピットに焼土塊が詰め込まれた状態のもの、鏡形鉄滓の出土した土坑もあり、小鍛冶が行われていた可能性が高い。

**竪穴住居跡** 竪穴住居跡 SB1003は、南北2.7m、東西3.0mの方形を呈する。検出面から床までの深さは、34cmを計る。4本主柱の構造と考えられ、西側に高床部、南東隅に造付けの竈をもつ。

竪穴住居跡 SB1021は、長辺3.75m、短辺2.1mの長方形を呈し、4本主柱である。竈の痕跡はみられない。

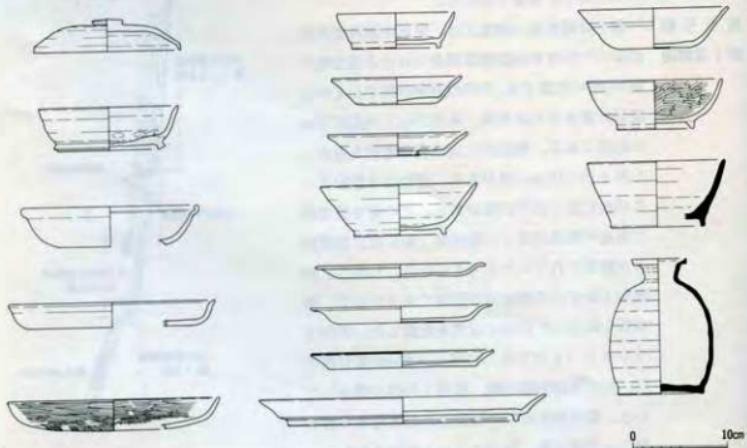
**第2遺構面** 掘立柱建物跡1棟、竪穴住居跡7軒、溝7条、土坑90基、方形周溝墓1基、土器棺墓1基等が



3 第1分割 第1遺構面掘り下げ状況



4 第1分割 SB1003



5 第1分割 第1遺構面出土土器

検出された。中期後半から後期初頭の遺構が大半を占め、中期前葉に属する遺構も少数みられる。

**竪穴住居跡 SB1035** 竪穴住居跡 SB1035 は、2回の建て替えを行っている。最初の住居は復元下端径6.0m、検出面から床面までの深さは54cmを測る。中央に楕円形の炉が検出されているが、2回目の住居に削平され、底面のみ残る。6本主柱の構造と考えられ、周壁構を巡らせている。床面からは、大型蛤刃石斧を転用した敲打器、泥岩製の磨製石庖丁が出土した。

この住居の廃絶後、住居の南側%に重なって、下端径5.8mの円形住居が構築されている。6本主柱の構造で、中央部に、2基の鍛冶炉が検出された。北側の鍛冶炉は、長軸185cm、短軸60cmの長楕円形を呈す。中央部分の底面50cm×40cmの範囲が赤変し、底面までの深さは10cmを測る。南側にもほぼ同じ規模の炭化物が充填されている状態の鍛冶炉が検出された。炉の東端にあるピットの壁面と底面が赤変している。両者とも下部構造は共通し、床面から約35cm掘削後、炭化物と地山の土を交互に充填した状況が観察できる。この構造は、除湿機能を高め、炉内を高温に保つためのものと考えられる。周辺及び柱穴から、鍛冶津、三角鉄片、鍛造剝片が出土した。

さらに、やや拡張し下端6.8m×6.6mの規模で、3回目の住居が2回目住居の床面に10cm程度土を盛って構築されている。中央に長軸185cm、短軸135cm、深さ30cmの長楕円形の鍛冶炉を有する。前述の鍛冶炉と同様、下部構造は粘質土と炭化物層の互層になっている。20cm内外の結晶片岩割石が炉の傾斜に沿って十数点検出された。これらは被熱により赤変している。炉内から鍛冶津が数点、鉄片等も出土し、貼床には鍛造剝片がかなり含まれている。赤変した砥石、40cm大の円盤状の緑色片岩等が出土している。

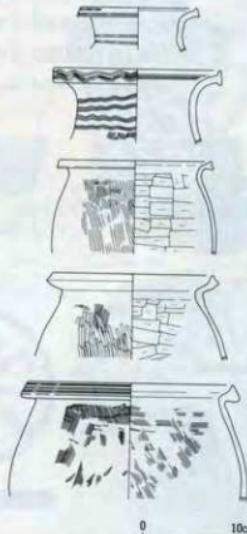
住居西端の床面で、長さ14cm、幅5cm、厚さ



6 第1分割 SB1035



7 第1分割 SB1035 内鍛冶炉断面



8 第1分割 SB1035 出土土器

2 cm、重量500 g の鉄素材も出土した。

存続時期は、弥生時代中期末から後期初頭と考えられる。

#### 土器溜まり

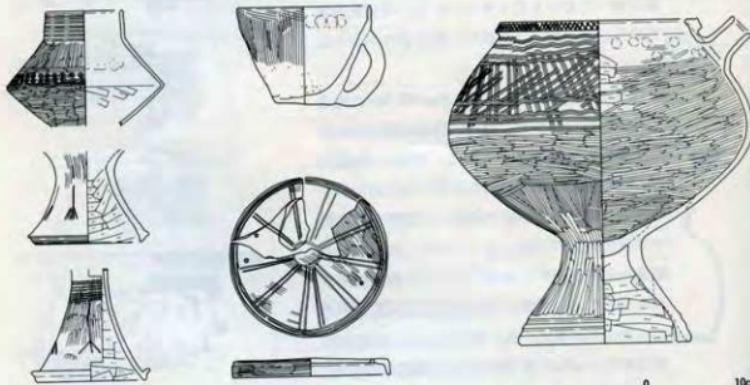
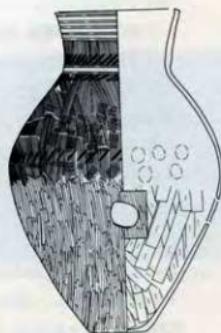
SX2009

土器溜まり SX2009 は、大型土坑に大量に投棄された土器群である。土坑の規模は東西5.6m、南北4.8m、深さ約50cmで、不整梢円形を呈す。底面はほぼ平坦、中央やや南西よりに炭化物と焼土が180cm×90cmの範囲に広がる。その上に黄褐色粘性砂質土が約10cm堆積し、上面にも焼土と炭化物が確認された。土器群は粘性砂質土層の上、土坑南西部約 $\frac{1}{4}$ の範囲に集中して検出された。土器群は、土坑の傾斜に沿っており、25~30cmの厚さがある。炭化物や焼土が土器群の間に挟まって出土する状態から、3回程度の重なりが観察でき、平面的にもあわせて10群程度のまとまりがある。土坑南西部外側から中央に向かい、火の使用を繰り返しながら数回にわたって投棄されたものと想定される。また、骨片が數か所で検出されたほか、大型広口壺の中に高杯が挿入された状態のもの、直口壺体部に穿孔のあるものがみられる。土器は、ヘラによ



9 第1分割 SX2009

振立  
SA2



10 第1分割 SX2009 出土土器

る三叉文や、スタンプ状用具の押捺による同心円文などの記号や把手付きの土器が目立ち、斜格子文や波状文など装飾の施された土器が多數出土している。これらのことから、この遺構は祭祀行為により形成されたものと考えられる。

時期は弥生時代中期末に属するものと考えられる。

**掘立柱建物跡 SA2001** 掘立柱建物跡 SA2001は、SB1035 の北側に隣接して検出された。1間×3間、梁間3.5m、桁行4.5mを測る。柱穴規模は径70cm前後、深さは80~100cmを測る。甕などを詰め込んだ状態の柱穴がみられ、構築にあたっての祭祀が行われたものとみられる。

**縄文時代 遺物包含層** 前年度調査した河川 SR2004 の北岸を形成する堆積層に、縄文土器が多量に包含されている。平成4年度の試掘調査で確認された遺物包含層の広がりのうち、南端の200m<sup>2</sup>足らずの狭い範囲が今回の調査対象である。遺物包含層は、弥生時代の遺構面下約70cm下の標高6.2mから8.0m前後に堆積している。西側は弥生以前の氾濫による砂礫層、南側は弥生時代の河川で流失し、途切れている。

堆積層は大きく6層に分層可能である。ただ、中央に斜面堆積と見られる周辺とは異なった土色の層がみられ、それを境に東側と西側では堆積層は必ずしも一致しない。第1層は、四ツ池式や松ノ木式に相当する縁帶文土器成立段階の遺物が、第2層の磨消繩文土器の中には典型的な福田K II式が含まれ、最も遺物量の多い第3層からは、中津式の土器群が出土する。この中には、中津I式とII式分離のメルクマールとされる溝巻文の縄文部反転のものが混在し、窓枠状区画文も含まれている。第4層以下では渦巻文は稀で、紡錘文が主体を占める。中津式段階で成立したとされる粗製の無文土器も多く出土している。他に、第2層と、第6層から双耳壺が出土し、第2層出土の双耳壺には把手を中心にして渦巻文が4箇所に配され、文様にそって水銀



11 第1分割 出土縄文土器(1)

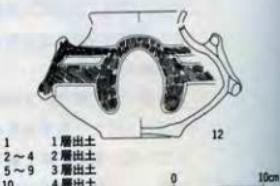
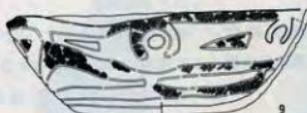
朱が塗り分けられている。また、第2・3・6層上面には焼土・炭化物・骨片を含んだ土坑のほか、焼土面が検出された。

**まとめ** 第1遺構面の古代の遺構群は、ほぼ長方形の限られた範囲で検出された。遺構群は時期幅があるが、竪穴住居跡群は規模、方位ともに一定せず、国府造営以前に構築された可能性が高い。一方、掘立柱建物跡群は規格、方位からも国府成立後に營まれたものと考えられる。他に鍛冶遺構なども遺構群の性格を考える上で注目される。

弥生時代の遺構は、中期～後期初頭の遺構群が検出された。国府養護学校地点と国府変電所地点に挟まれた場所で、両地点で確認されている時期の一部に相当する。このなかで、鍛冶遺構の検出が注目される。現在弥生時代の鍛冶遺構は九州地方の後期を中心に20遺跡で30数遺構が確認されている。今回の出土遺構は、発見例の中では古い時期に属し、その中では最も東に位置する。弥生時代の鉄器生産研究の貴重な資料である。

また、土器溜まり遺構は、詳細は今後の検討によるが、銅鐸祭祀を頂点とする祭りの一様相としてとらえられ、重層的なこの地域の祭祀を解明する手がかりとなろう。

縄文時代の包含層は、1.5mを越える厚みがあり、面積に比して出土量が多い。基本的には調査地東側の河川の堆積によるものと考えられるが、土坑や焼土面などから生活面として利用が、十分に考えられる。しかも、型式学的に系統づけられている後期前葉の土器編年によるものと考えられる。また、福田K II式段階の水銀朱使用は、確認されているものの中では最古に属する。今回の調査区は試掘調査で確認されている包含層の広がりのごく一部であり、今後の調査に期待したい。



12 第1分割 出土縄文土器(2)

**第2分割 道路遺構** 第1遺構面で道路遺構が検出された。道路面の幅9.1m、主軸はN77°Eの方向を指す。検出部分の延長距離は13.6mである。南側に幅3.8m、北側に幅4.0mの側溝が走る。いずれも道路側への傾斜が急で、外側に向かって緩い。深さは、20~84cmを測り、一定しないが西側に低くなる傾向がある。堆積土中には流水の痕跡がみられる。時期を特定できる遺物は含まれていない。道路中央に、幅2m、深さ10~25cmの溝が構築されている。底面に結晶片岩・チャート等の3cm大の円礫が敷き詰められ、中に、瓦の破片、須恵器片、土師器片が少量であるが混入している。この部分の覆土は粒子の粗いオリーブ褐色土が充填されており、暗渠と考えられる。暗渠底は西に向かってやや傾斜する。調査区の東端で南北両側の側溝に向かって延びる排水溝を検出した。排水溝と側溝の切り合いから、暗渠の構築は道路が建設された時点ではなく、改修時の可能性が考えられる。

道路遺構は、西正面に国分寺を望み、国分寺推定域の中心に当たる。また、八倉比売神社に通じる東西の道から南へ236m(約2町)を測る。条里に則った、国分寺に通じる道路であったと考えられる。

**第2遺構面** 検出した遺構は、竪穴住居跡14軒、溝8条、土坑41基、ピット54基、河道3条、不明遺構6基である。

**竪穴住居跡** SB2030 長軸6.95m、短軸6.80mのやや不整な円形を呈する。深さは検出面から80cmを測る。6本主柱の構造と考えられ、床面は砂礫で、明確な貼り床は認められない。炉は構築面である砂礫上では不整形の掘り方をわずかにもつ程度である。覆土中の遺物量は多く、特に炉に重なって、南北に長く遺物の集中がみられた。構築位置は、自然流路(SR2001)に近く、床面は流路底より低いレベルである。

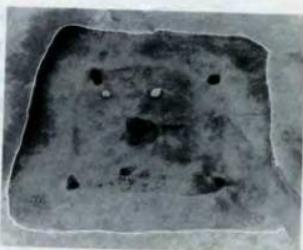
時期は弥生時代終末期であると考えられる。



13 第2分割 道路遺構



14 第2分割 SB2030



15 第2分割 SB2032

**豊穴住居跡** 長軸5.90m、短軸5.80mのほぼ方形を呈し、  
SB2032 四周に10cm程度の高床部をもつ。流路に挟まれた中州状の砂堆に構築されていたが、検出面からの深さは、20cm内外である。柱穴は高床部内側隅に検出された4本を主柱とする構造である。構築面は砂礫層で、構築時には、炉は中央やや南側の炭化物を多く含んだ土坑の使用が考えられる。また、住居中心部、四周の高床部と同じレベルで、10cm程度の分厚い焼土が検出された。地床炉であった可能性が高く、中央部分を埋め立てた状態での2次的な床面使用が考えられる。

また、2次床面に、多数の炭化材と焼土痕があり、小型の鉢などが完形で出土したことから焼失により廃絶に至ったと考えられる。

時期は弥生時代終末期である。

**豊穴住居跡** 一部調査区外に延びているが、検出部分で長軸4.4m、短軸5.3mの不整な円形を呈する。検出面からの深さは68cmを測る。住居北側で砂礫の堆積が盛り上がった部分があり、その部分から床面までの深さは102cmと、凹凸のある地形の低い場所に構築されている。

住居構造は5本主柱で、地床炉を有する。明確ではないが、貼り床の可能性が考えられる。

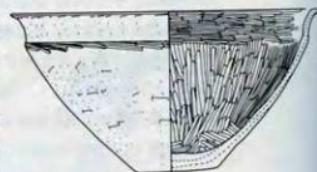
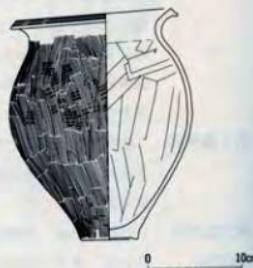
時期は弥生時代後期前葉に属する。

**不明遺構** 流路に挟まれた中州状の高まりの南側で、土器群が検出された。明確なプランを持たず、自然流路の斜面に並べられた状態で甕、鉢、高杯が多数出土した。中でも、高杯の出土量が多く、甕の中に小型丸底鉢が挿入された状態のものもみられた。祭祀的な行為があったものと考えられる。時期は弥生時代終末期に属する良好な括資料である。

**自然流路** 幅60mを測り、南東から北西方向に流れる河道である。赤褐色の砂質土が広がり、湿地状に緩やかに流れていたものと考えられる。その規模から、前年度調査の第1分割北端で検出された河道につながる可能性が高い。



16 第2分割 SB2033



0 10cm

17 第2分割 SB2033 出土土器

**自然流路** 前年度第2分割南端で検出されたSR2001にSR2004つながる流路である。この流路は今年度検出のSR2001から分かれ、南西から北東方向に流れると捉えられる。調査区を斜めに横切る河岸も検出されたが、流路底から住居跡(SB2035)が焼失状態で検出された。この住居跡は、土層観察によっても流路埋没後に構築されたものとは確認できないことから、恒常的な流水がなかったものとみられる。

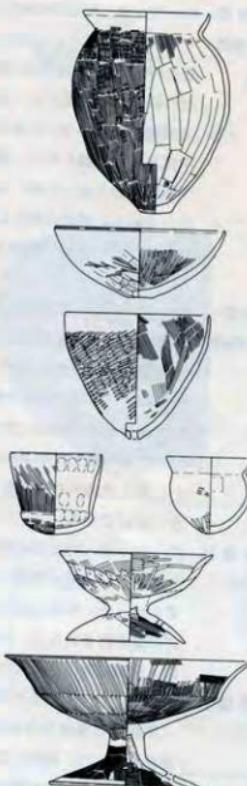
**まとめ** 国府周辺域では初めて確認された道路遺構が注目される。遺構は東西方向で調査区を横切るために、検出部分が短い。重郭文軒平瓦が出土しているが、構築・廃絶の時期を特定できる遺物に乏しい。奈良時代後半から平安時代前期を想定するにとどまる。しかし、道路中央に暗渠をもつ構造であることや、道路幅9mが奈良時代の中路の規模に一致することなど、着目すべき点が多い。これらをもとに国府を中心とする道路網についても検討の必要があると思われる。

第2遺構面は、弥生時代後期前半から終末期にかけての分厚い遺物包含層の堆積がみられた。集落の区画として機能したと考えられるSR2001は南東から北西に向かい湾曲して流れると推測される。内湾側では堆積作用が頻繁で、80cmにもおよぶ遺物包含層を形成したものと考えられる。その間にも、生活面として継続利用が想定されるが、堆積土の状況が不安定で遺構の認定に困難を極めた。

前年度までの調査では、微高地に竪穴住居が、低い部分に溝等が存在したが、今回検出された竪穴住居跡は、比較的低い部分にも構築され、微高地に溝状遺構が検出される例がみられた。さらに土器様相・組成も含め、今後の詳細な検討が必要である。(湯浅)



18 第2分割 SX2003



19 第2分割 SX2003出土土器

# かみ ぎ らい 上喜来遺跡ほか

整理期間 1994年4月1日～1995年3月31日

担当者 早瀬 辻

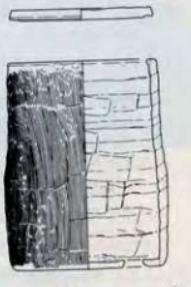
**整理概要** 以下の調査報告11遺跡・試掘調査報告33遺跡について、平成6年度に基礎整理・報告書執筆を行い、今年度報告書を刊行した。

**遺跡概要 所在地 阿波都市場町大俣字山路131-1他 上喜来遺跡** 本遺跡は平成2・3年度に1,160m<sup>2</sup>を対象に調査を行った。遺跡は阿讚山脈南麓の標高120m付近の斜面上に位置する。調査の結果、組み合わせ式五輪塔を伴う中世墓群を検出した。これら中世墓群は斜面を削平、盛り土して造りだした平坦地上の7基の石組、4基の焼土壙等で構成されている。構築時期としては出土遺物から15世紀代を中心に順次構築されたものと考えられる。

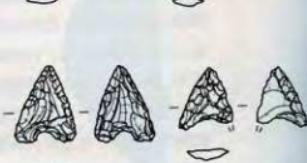
**大俣山路～所在地 阿波都市場町大俣字佐127他 大俣宇佐遺跡** 本遺跡は平成3年度に250m<sup>2</sup>を対象として調査を行った。調査の結果、石列を検出した。石列の周辺からは土師質土器杯・瓦質土器花瓶・灯明皿・丸瓦・銅錢（寛永通宝）等が出土している。この石列は時期的には江戸時代と考えられ、出土遺跡からは「堂」的な建物の存在を窺うことができる。

**八坂遺跡 所在地 阿波都市場町八坂777他 (II)** 本遺跡は平成元年度に360m<sup>2</sup>を対象として調査を行った。事前の分布調査では五輪塔の散布が確認されていたが、地形の変更が著しく、遺物・遺構は検出されなかった。

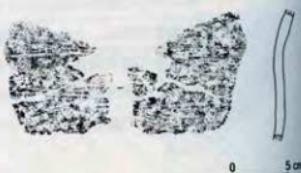
**八坂遺跡 所在地 阿波都市場町八坂777他 (IV)** 本遺跡は平成元年度に2,000m<sup>2</sup>を対象として調査を行った。調査の結果ほぼ全域で地山に達する削平と客土の堆積が確認され、遺構は検出されなかった。サスカイト製の石鐵・土師質土器等が出土している。



1 上喜来遺跡出土遺物



2 古田遺跡 (I) 出土遺物



**古田遺跡所在**地 阿波郡市場町大字切幡字古田243他

(II) 本遺跡は平成元年度に510m<sup>2</sup>を対象として調査を行った。調査区の全域にわたり削平が著しく、鎌倉時代の土坑1基のみが検出された。この下層から縄文土器・石器等が出土した。縄文土器は後期後半から晩期前半に属するものを主体としている。

**乾山～所在地** 阿波郡市場町大字切幡字觀音124-6他

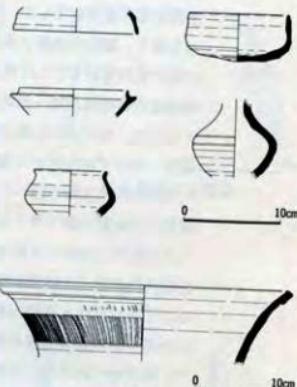
**觀音遺跡** 本遺跡は平成3年度に850m<sup>2</sup>を対象として調査を行った。調査前には寺院遺跡の存在が予想されていた。調査の結果、中世を中心とした柱穴・土坑等を検出したが、寺院の存在を窺わせる遺構・遺物は確認できなかった。土師質土器皿・杯・鍋・擂鉢・瓦器椀・瓦質土器火鉢・備前焼擂鉢が出土しており、鎌倉時代から室町時代にいたるものと考えられる。

**葬ヶ丸遺跡所在地** 板野郡土成町大字高尾字けやき原77-1

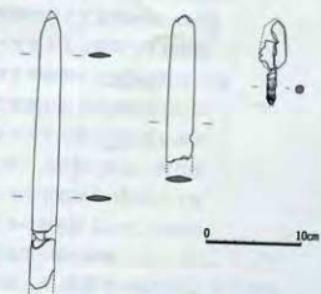
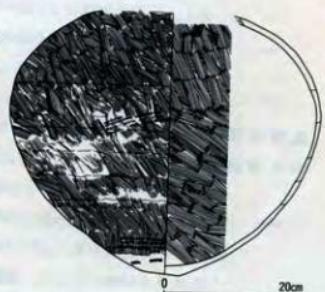
本遺跡は平成2年度に1,400m<sup>2</sup>を対象に調査を行った。調査区全体に開墾による削平が著しく、寛永通宝の六道銭を伴う土葬墓が1基検出されたのみである。出土遺物の大半は須恵器が占める。須恵器は杯身・杯蓋・高杯・匙・瓶・短頸壺・甕等があり、古墳時代後期、6世紀後半～7世紀にかけてのものと考えられる。これらは調査区の西部、尾根上から斜面部にかけて集中して出土しており、削平を受けた尾根部分にかつて古墳が存在したことを想定させる。調査区の位置する丘陵一帯にはかつて20基前後の古墳が存在したことが「土成町史」に記録されているが、現在ではほとんどが消滅しており、詳細は不明である。今回の調査で出土した須恵器はこれら消滅した古墳の副葬品であった可能性が高い。

**安楽寺谷所在地** 板野郡上板町引野字安楽寺谷160-1他

**墳墓群** 本遺跡は平成3年度に2,140m<sup>2</sup>を対象に調査を行った。遺跡は阿讚山脈から南に派生した標高85～100mの尾根上に位置している。調査の結果、円墳(1号墳)1基・竪穴式石室墓1基・



3 葬ヶ丸遺跡出土遺物

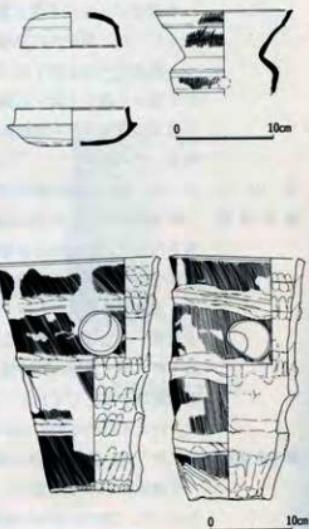


4 安楽寺谷墳墓群出土遺物

土器棺墓 8 基を検出した。円墳は墳丘径 11~12m を測り、墳丘中央部に南北に主軸を持つ 2 基の竪穴式石室が並行して構築されている。構築時期は古墳時代初頭～前期（布留式段階）と考えられる。竪穴式石室墓は明確な盛り土・区画施設を持たず地山面から墓壙を掘り込み、北東～南西方向に主軸を持つ石室を構築する。石室東側には供獻土器と考えられる壺形土器を埋置した土坑が 1 基検出されている。構築時期は弥生時代終末期（庄内式新段階併行）と考えられる。土器棺墓は 8 基検出されている。墓壙は地山を掘り込み壺形土器を棺として埋納するもので、弥生時代終末期（庄内式併行期古段階～新段階）に位置づけられる。以上のように本墳墓群において確認された埋葬形態は基本的に土器棺墓→竪穴式石室墓→古墳といった流れをしめす。一連の集團により同一尾根上で展開された墳墓の造営が弥生墓的な埋葬形態から古墳へと変遷していく過程を辿ることのできる重要な資料といえよう。

#### 菖蒲谷西山 A 遺跡

所在地 板野郡上板町神宅芝生 2-2 他  
本遺跡は平成 2~3 年度に 460m<sup>2</sup>を対象に調査を行った。安定した遺物包含層や遺構面は確認できなかったが水田造成時の客土中に古墳時代～近世に及ぶ多量の遺物が含まれていた。遺物の大半は埴輪が占める。埴輪は、円筒埴輪を主体とし、少量の形象埴輪が伴う。円筒埴輪は器高 30~40cm 前後で 3 条突帯 4 段構成である。外面には 1 次調整によるタテハケを施す。このほか朝顔形埴輪も少量確認されている。形象埴輪には人物埴輪が 3 個体確認できる。復元し得た 1 体は髪を結い身にオスヒを纏い、両手で壺を捧げ持つ女性を表現しており、「擲がけ人物埴輪」と呼ばれる形態を示す。これら埴輪の時期は伴出している須恵器から 5 世紀末と考えられる。これら埴輪を伴った古墳の所在は不明であるが、畿内で発生した人物埴輪祭祀が比較的早い段階に県内に導入されていたことを物語るもの

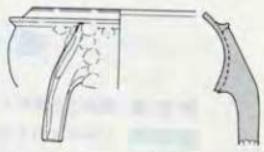


5 菖蒲谷西山 A 遺跡出土遺物

のである。

**松谷遺跡** 所在地 板野郡板野町松谷字シキ19-1

本遺跡は平成2・3年度に900m<sup>2</sup>を対象に調査を行った。柱穴・土坑等若干の遺構が検出された。遺構の時期は13世紀代に位置づけられる。出土遺物中には山城型と呼ばれる京都系の瓦器三足釜の搬入品が認められる。



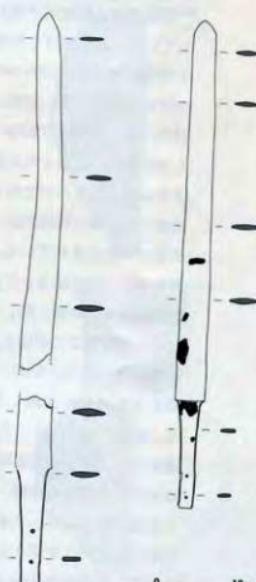
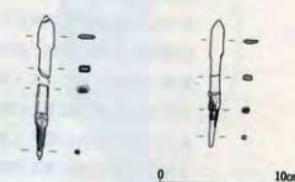
6 松谷遺跡出土遺物

**蓮華谷古墳群** 所在地 板野郡板野町犬伏9-1-2他

(1) 本遺跡は平成3・4年度に353m<sup>2</sup>を対象に調査を行った。遺跡は阿讃山脈より南へ派生する標高約50mの尾根鞍部に位置する。調査の結果円墳2基を確認した。1号墳の墳丘は径は約12mを測る。埋葬施設は墳丘中央部やや北寄りに木棺直葬で主軸を東西に向け構築されている。副葬遺物は棺内に鉄劍1、棺外に鉄劍1が出土している。構築時期は5世紀前半と考えられる。

**試掘調査** 以下の33遺跡については分布調査に基づき試掘調査を行ったが、遺物・遺構が検出できず本調査に至らなかったものである。

西長峰遺跡・中長峰遺跡・東長峰遺跡・桜ノ岡～東正広遺跡・山ノ神遺跡・山ノ神～八町原遺跡（以上阿波郡阿波町所在）八坂遺跡（I）・八坂遺跡（III）・古田遺跡（I）・坤山～般音遺跡・乾山遺跡（以上阿波郡市場町所在）北門～涼堂遺跡・広坪～宮ノ下遺跡・向山古墳群・けやき原～林遺跡・法教田遺跡（I）（以上板野郡土成町所在）関堀窯跡・明神池古墳群・新池遺跡・菖蒲谷東山古墳群・山田古墳・山田古墳B・大谷古墳群・大谷薬師遺跡・祝谷古墳・聖天山遺跡（以上板野郡上板町所在）黒谷窯跡・蓮華池遺跡（II）・西中富遺跡（I）・西中富遺跡（II）（以上板野郡板野町所在）東中富遺跡・前須遺跡・新居須遺跡（以上板野郡藍住町所在）（付）



7 蓮華谷古墳群（I）出土遺物

# みょう 名 東 遺 跡

所 在 地 徳島市名東町1丁目

整理期間 1994年4月1日～1995年3月31日

担当者 藤川 氏家 佐野

**整理概要** 本遺跡は、平成4年度に1,800m<sup>2</sup>について発掘調査が実施された。調査では弥生時代の集落跡を中心として遺構が検出されている。整理作業は遺物の洗浄・注記、接合、復元の基礎整理作業及び実測・トレース・レイアウト等の各作業を行った。また出土した鉄器の保存処理と鉄素材及び朱の分析に関する委託を実施した。平成6年度は以上の作業と原稿の作成を終了し、平成7年度は報告書刊行の予定である。

名東遺跡は鯾喰川下流右岸の沖積地上に位置している。遺構面は2枚確認され、それぞれ弥生時代と平安時代以降の時期と考えられる遺構が検出されている。遺物は旧石器時代から縄文時代、弥生時代、平安時代までのものがみられるが、遺物、遺構とともに弥生時代中期末と後期後半に属するものが主体となっており、竪穴住居跡4軒、掘立柱建物跡1棟、土坑60基、溝8条などが検出されている。遺物は竪穴住居跡や溝を中心として出土しており、弥生土器以外に土製紡錘車、鉄鐵、施、ガラス玉や石鐵、石臼などの石器類などが出土している。また中期末の竪穴住居跡内からは、朱の付着した石杵や土器とともに朱が沈澱した土坑が検出されている。本県ではこれまで若杉山遺跡や黒谷川郡頭遺跡など、弥生時代後葉から古墳時代初頭にかけて水銀朱の採掘、精製などを行った遺跡が調査されており、名東遺跡の例はそのような行為が弥生時代中期末にまで遡ることを示すとともに、県内の弥生時代社会の資源利用とその物流を考える上で重要な資料である。（氏家）



SK2019 出土土器

# 矢野の遺跡

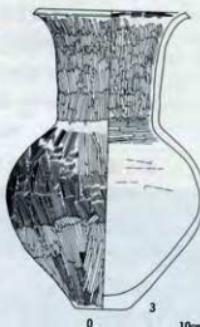
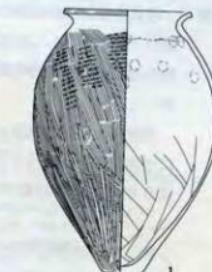
所在地 徳島市国府町矢野

整理期間 1994年4月1日～1995年3月31日

担当者 藤川 氏家 佐野

**整理概要** 本遺跡は平成4年度に3630m<sup>2</sup>を対象として発掘調査を実施した。調査では弥生時代の集落跡を中心として遺構が検出されている。整理作業は遺物の洗浄・注記、接合・復元の基礎整理及び遺物の実測などの各作業を行った。また出土した鉄器の保存処理及び鉄器の成分・組織分析についての委託を実施した。平成6年度は以上の作業を終了し、次年度以降は、矢野地区の他の調査地点の整理作業を継続していく予定である。

矢野遺跡は鮎喰川下流左岸の沖積地上に位置しており、推定範囲が南北2km、東西1kmに及ぶ弥生時代中期から後期を中心とした大規模な集落跡である。平成4年度の発掘調査で検出された遺構は、竪穴住居跡6軒、銅鐸埋納坑1基、土坑107基、溝7条などがある。遺構は鮎喰川より分流した支流の自然堤防上を中心として作られている。周囲の流路は多くの土器片が廃棄された場所や完形土器が配されるよう残されている箇所も存在しており、生活空間の一部として利用されていたことがうかがわれる。銅鐸埋納坑は弥生時代後期の集落のほぼ中央部に位置しており、その周囲には大小の土坑群が検出されている。大形の土坑内にはいずれも土器片が多量に廃棄されており、小形の土坑内からはほぼ完形の土器が単独ないしは数個体まとめて検出されている。竪穴住居跡は径が約6～12mで円形を呈し、そのうち2軒は方形の張り出し部をもっている。遺物の出土量は大形の土坑などに比べると少なく、床面上での遺物のまとまった出土はみられなかった。(氏家)



(1 SK2012, 2 SK2014, 3 SK2035)

## 埋蔵文化財総合施設整備事業関連整理業務

整理期間 1994年12月1日～1995年3月31日

担当者 早渕 辻

**整理概要** 埋蔵文化財総合施設建設に伴う施設整備事業の一環作業として県教育委員会より展示遺物の選定および資料整備事業の委託をうけ実施した。

埋蔵文化財総合施設の展示室は平成4年度に壁面の効果的活用を図ることを決定し、平成5年度の展示計画案をうけ作業に着手した。

展示資料は旧石器時代から近世初頭までを扱い、壁面の土器展示は編年展示を、またケース展示ではテーマを設定し時代を特徴づける遺物の選定を行った。

遺物選定にあたって扱った遺跡は、旧石器時代では吉野川北岸段丘上の遺跡を中心に日吉谷遺跡・椎ヶ丸遺跡等、縄文時代では吉野川下流の矢野遺跡、上流の稻持遺跡を中心に行った。

弥生時代では庄遺跡・矢野遺跡・黒谷川郡頭遺跡を中心に行い、ケース内では玉作り工程復元と祭祀関連資料などの選定を行った。

また、展示室中央部の朱精製工房復元に伴い朱精製用具等の資料の選定も併せて行った。

古墳時代では庄・鮎喰遺跡・石井曾我遺跡等の集落遺跡他、古墳の資料として荻原墳墓群・蓮華谷古墳群等を対象とし、ケース内では馬具・鉄鎌など鉄製品の選定も行った。

古代では隆善寺遺跡等寺院関連資料の他、高畠遺跡・庄遺跡・黒谷川宮ノ前遺跡等官衙関連遺跡を中心、中世では古城遺跡・中島田遺跡等の集落遺跡を対象とした。

本期間で土器等の資料整備が完了した個体数は約300個体である。(早渕)



1 作業風景



2 復元遺物



3 復元遺物



4 展示遺物

## IV 埋蔵文化財センターの活動

### (1) 職員の対外活動

No	期 間	人 員	内 容
1	6.5.10~5.17	研究員1	埋蔵文化財発掘技術者特別研修参加（奈良市）
2	6.5.10~5.17	研究員1	埋蔵文化財発掘技術者専門研修参加（奈良市）
3	6.6.16~6.17	局長・課長2 主査係長1	全国埋蔵文化財法人連絡協議会総会出席（吹田市）
4	6.6.25~6.26	研究員1	古代学協会四国支部第8回大会発表（高知市）
5	6.7.14~7.15	局長・課長2 主査係長1・係長1 主事・技術主任1 研究員3	四国埋蔵文化財法人実務担当者会議出席（徳島市）
6	6.8.26	研究員1	徳島県高校地歴学会出席（徳島市）
7	6.9.11	係長1	第19回剣舞研究会講演（野洲町）
8	6.9.27	研究員1	全国埋蔵文化財法人連絡協議会コンピューター等研究委員会中国・四国・九州ブロック地区委員会出席（板出市）
9	6.10.5~10.8	主事・研究員2	全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会参加（宇都宮市）
10	6.10.13~14	係長1	応用研究会考古資料選定会議出席（徳島市）
11	6.10.17~10.21	研究員4	県立板野高等学校外部講師招へい事業講師
12	6.11.5~11.7	係長1	日本考古学協会大会発表（京都府）
13	6.11.5~11.7	研究員2	日本考古学協会大会ポスターセッション説明（京都府）
14	6.11.9~11.11	係長1・研究員2	全国埋蔵文化財法人連絡協議会中国・四国・九州ブロック会議出席（高知市）
15	6.11.21	係長1	四国用地担当者総会講師（徳島市）
16	6.11.24	研究員2	建設省徳島工事事務所主催土木の日見学会説明（徳島市）
17	6.12.18	研究員1	徳島地方史研究会研究大会発表（徳島市）
18	7.1.17	技術主任・研究員2	文化財指導者講習会参加（徳島市）
19	7.2.3~2.5	研究員3	第2回埋蔵文化財開催係員交流集会参加（小田原市）
20	7.2.5	係長1	考古学研究会岡山例会発表（岡山市）

### (2) 現地説明会等の開催

No	道 路 名	説 明 内 容	期 日	参 加 人 数
1	矢野遺跡	徳島市立国府中学校見学	6.8.26	10名
2	矢野遺跡	市町村文化財保護審議委員研修	6.10.12	120名
3	矢野遺跡	6年度の調査成果の公表	6.10.29	250名
4	矢野遺跡	県立国府養護学校見学	6.11.1	20名
5	矢野遺跡・田上遺跡	藍住町文化財保護審議委員現地研修会	6.12.20	12名
6	田上遺跡	6年度の調査成果の公表	7.3.25	100名

### (3) センターの見学

No	日 時	機 関 名 等
1	6.11.4	勝浦町読書振興協議会
2	7.2.28	板野西小学校



現地説明会風景



現地説明会風景

(4) 資料の貸し出し

本年度行った資料の貸し出しは以下である。

No.	貸出先機関等	目的	貸出資料	期間
1	株式会社学生社	『討論銅鐸』掲載	矢野銅鐸関連写真一式	
2	株式会社 染織と生活社	『月刊染織α』掲載	名東遺跡出土石杵写真	
3	徳島地方史研究会	研究大会資料	矢野遺跡銅鐸出土状況写真一式	
4	阿波都市場町文化財 保護審議委員会	『市場町文化財めぐり』 掲載	上喜来姫子～中佐古遺跡出土櫛口鋳型写 真	
5	株式会社 河出書房新社	『図説徳島の歴史』	矢野銅鐸・日吉谷遺跡出土旧石器・蓮華 谷古墳群(II)主体部・四神形鏡・黒谷 川宮ノ前遺跡全景等写真	
6	徳島市立高等学校	市高祭展示資料	名東遺跡出土土器1点・甕1点・高杯2点・ 矢野遺跡写真一式	6. 9. 8～9. 13
7	財團法人 京屋社会福祉事業団	『大嘗祭』掲載	矢野銅鐸写真一式	
8	財團法人 横浜市ふるさと歴史 財團	横浜市歴史博物館開館記念特別展展示	矢野銅鐸出土状況写真	
9	高浦中学校	教材	椎ヶ丸～芝生遺跡出土旧石器3点	6. 6. 1～6. 24

(5) 刊行物

『徳島県埋蔵文化財センター年報 vol. 5』

『四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告7 上喜来姫子～中佐古遺跡』

『四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告8 古城遺跡』

『四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告9 黒谷川宮ノ前遺跡』

『四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告10

柿谷遺跡・菖蒲谷西山B遺跡・山田古墳群A』

『四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告11 神宮寺遺跡』

『四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告12 西谷遺跡・日吉～金清遺跡』

『四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告13 試掘調査総括他』

## V 受贈図書

書名	寄贈者等名
<b>北海道</b>	
北埋調報89 美沢川流域の遺跡群Ⅱ	(財) 北海道埋蔵文化財センター
—新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書—	
美沢3遺跡 美々8遺跡	
北埋調報85 滝里遺跡群IV	(財) 北海道埋蔵文化財センター
滝里10遺跡・滝里11遺跡・滝里31遺跡	
—石狩川水系滝里ダム建設事業用地内埋蔵文化財発掘調査報告書—	
北埋調報86 千歳市ユカンボシC遺跡	(財) 北海道埋蔵文化財センター
長都地区道営畑地帯総合土地改良事業用地内埋蔵文化財発掘調査報告書	
北埋調報87 七飯町鳴川右岸遺跡	(財) 北海道埋蔵文化財センター
一般国道5号函館新道(自動車専用道路)工事用地内及び鳴川砂防工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書	
北埋調報88 豊浦町高岡1遺跡	(財) 北海道埋蔵文化財センター
—北海道廻転自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書—	
北埋調報90 千歳市オサツト1遺跡 キウス7遺跡	(財) 北海道埋蔵文化財センター
—北海道横断自動車道(千歳~夕張)埋蔵文化財発掘調査報告書—	
千歳市 キウス4遺跡	(財) 北海道埋蔵文化財センター
—北海道横断自動車道(千歳~夕張)埋蔵文化財事前発掘調査概報—	
調査年報6 平成5年度	(財) 北海道埋蔵文化財センター
(財) 北海道埋蔵文化財センター15周年記念誌	(財) 北海道埋蔵文化財センター
遺跡が語る北海道の歴史	(財) 北海道埋蔵文化財センター
釧路市北斗遺跡IV	釧路市埋蔵文化財調査センター
—史跡北斗遺跡保存整備事業に伴う発掘調査報告書—	
釧路市北斗遺跡第1地点調査報告書II	釧路市埋蔵文化財調査センター
釧路市弊舞遺跡調査報告書II	釧路市埋蔵文化財調査センター
豊井浜遺跡	小樽市教育委員会
小樽市埋蔵文化財調査報告書 第9輯 —市道豊井線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	
塩谷6遺跡	小樽市教育委員会
—国道5号塩谷越幅事業および塩谷警察官駐在所建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報—	
平取町ビバウシ2遺跡	平取町教育委員会
—沙流川総合開発の二風谷ダム建設工事に伴う記念館建設工事地内埋蔵文化財発掘調査概要報告—	
平成5年度学研究費補助(総合A)研究成果報告書	北海道大学文学部
織紋晚期前葉—中葉の広域編年	
<b>青森県</b>	
埋文あおり 第13号	青森県埋蔵文化財調査センター
青森県埋蔵文化財調査センター 平成6年度要覧	青森県埋蔵文化財調査センター
<b>岩手県</b>	
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第188集 新山椎遺跡発掘調査報告書	(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
一般県道長板東橋前沢線石橋橋梁整備事業関連遺跡発掘調査	
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第196集 煤系遺跡発掘調査報告書	(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
東北横断自動車道秋田線建設関連遺跡発掘調査	
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第197集 観音前跡発掘調査報告書	(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
東北横断自動車道秋田線建設関連遺跡発掘調査	
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第198集 千手堂・羽黒山體I・II遺跡発掘調査報告書	(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
東北横断自動車道秋田線建設関連遺跡発掘調査	
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第199集 塙野I・塙野II遺跡発掘調査報告書	(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

書名	寄贈者等名
東北横断自動車道秋田線建設関連遺跡発掘調査 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第200集 白木野I・II・III遺跡発掘調査報告書 東北横断自動車道秋田線建設関連遺跡発掘調査 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第201集 越中畠IV・越中畠V遺跡発掘調査報告書 東北横断自動車道秋田線建設関連遺跡発掘調査 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第209集 岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成5年度分) 紀元	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第204集 中曾根遺跡発掘調査報告書 公舎建設関連遺跡発掘調査 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第205集 矢塙遺跡第1次発掘調査報告書 岩手県工業技術センター建設関連遺跡発掘調査 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第206集 向館遺跡発掘調査報告書 一般県道上米内停車場線整備関連遺跡発掘調査 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第207集 倍田IV遺跡発掘調査報告書 岩手地区広域農道整備関連遺跡発掘調査 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第208集 黒内Ⅲ・黒内Ⅳ遺跡発掘調査報告書 岩手地区広域農道整備関連遺跡発掘調査 岩手県文化財調査報告 第94集 平泉遺跡群範囲確認調査 —第37次柳之御所跡発掘調査報告書— 岩手県文化財調査報告 第95集	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
岩手県内遺跡発掘調査報告書(平成5年度) 岩手県立埋蔵文化財センター所報 (No61) わらびて 岩手県立埋蔵文化財センター所報 (No63) わらびて 岩手県立埋蔵文化財センター所報 (No64) わらびて 岩手県立埋蔵文化財センター所報 (No65) わらびて 岩手県立埋蔵文化財センター所報 (No66) わらびて	岩手県立埋蔵文化財センター
<b>宮城県</b> 常設展示解説書 多賀城市文化財調査報告書 第19集 高崎遺跡調査報告書 —中央公園関連調査報告— 多賀城市文化財調査報告書 第35集 市川橋遺跡ほか —平成5年度発掘調査報告書— 多賀城市文化財調査報告書 第36集 柏木遺跡B地区発掘調査報告書 —旧石器時代前・中期最大規模の調査— 多賀城市文化財調査センター年報 第7号 多賀城市文化財調査センター年報 —平成5年度—	多賀城市埋蔵文化財調査センター 多賀城市埋蔵文化財調査センター 多賀城市埋蔵文化財調査センター 多賀城市埋蔵文化財調査センター 多賀城市埋蔵文化財調査センター 多賀城市埋蔵文化財調査センター
<b>山形県</b> 年報 平成5年度	財团法人山形県埋蔵文化財センター
<b>福島県</b> いわき市埋蔵文化財調査報告 第39冊 小茶円遺跡 —金沢地区的調査— いわき市埋蔵文化財調査報告 第38集 上ノ内遺跡 —繩文時代からの平安時代の集落跡の調査— いわき市埋蔵文化財調査報告 第34冊 常磐自動車道遺跡分布調査報告2 いわき市赤井地区— いわき市教育文化事業団年報4 平成4年度 いわき市教育文化事業団研究紀要 第5号 いわき市埋蔵文化財調査報告 第16冊 常磐自動車道いわき市内埋蔵文化財調査報告II 上ノ台遺跡	(財)いわき市教育文化事業団 (財)いわき市教育文化事業団 財团法人いわき市教育文化事業団 財团法人いわき市教育文化事業団 財团法人いわき市教育文化事業団



書名	寄贈者等名
栃木県埋蔵文化財調査報告 第140集 下野国分寺X 平成4年度発掘調査概報	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県埋蔵文化財調査報告 第141集 那須官衙関連遺跡I	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県埋蔵文化財調査報告 第142集 古宿遺跡 県道藤原一宇都宮線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県埋蔵文化財調査報告 第143集 塙道路I 岐道御前山・芳賀線拡幅工事に伴う埋蔵文化財発掘調査	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県埋蔵文化財調査報告 第144集 塙道路II 岐道御前山・芳賀線拡幅工事に伴う埋蔵文化財発掘調査	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県埋蔵文化財調査報告 第145集 金山遺跡II 一般国道4号(新4号国道)改築に伴う埋蔵文化財発掘調査	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県埋蔵文化財調査報告 第146集 田間東道北遺跡 一般国道4号(新4号国道)改築に伴う埋蔵文化財発掘調査	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県埋蔵文化財調査報告 第147集 球崎遺跡 一般国道4号(新4号国道)改築に伴う埋蔵文化財発掘調査	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県埋蔵文化財調査報告 第148集 金山遺跡III 一般国道4号(新4号国道)改築に伴う埋蔵文化財発掘調査	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県埋蔵文化財調査報告 第149集 田間東道北遺跡 一般国道4号(新4号国道)改築に伴う埋蔵文化財発掘調査	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県埋蔵文化財調査報告 第150集 球崎遺跡 一般国道4号(新4号国道)改築に伴う埋蔵文化財発掘調査	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県埋蔵文化財調査報告 第151集 石神遺跡第2次調査 一般国道4号拡幅に伴う埋蔵文化財発掘調査	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県埋蔵文化財調査報告 第152集 長岡百穴A遺跡 一般国道119号線豊郷工区建設に伴う埋蔵文化財発掘調査	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県埋蔵文化財センター通信 「やまかいどう」 №10 栃木県埋蔵文化財センター通信 「やまかいどう」 №11	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
考古学研究室報告 乙種第10冊 栃木県南河内町 下野薬師寺跡 — 史跡整備に伴う発掘調査 —	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県なす風土記の丘資料館 第2回企画展 古代東国の産業 — 那須地方の窯業と製鉄業 — 那須の歴史と文化	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県立なす風土記の丘資料館常設展示解説	国士館大学文学部考古学研究室
栃木県立なす風土記の丘資料館年報 第1号(平成4年度版)	栃木県立なす風土記の丘資料館
栃木県埋蔵文化財調査報告 第139集 栃木県埋蔵文化財保険行政年報 平成4年度 研究紀要 第1号	栃木県教育委員会
栃木県埋蔵文化財センター通信 「やまかいどう」 №7 栃木県埋蔵文化財センター通信 「やまかいどう」 №8	栃木県教育委員会
群馬県 遺跡に学ぶ 埋文群馬 №21 埋文群馬 №22 研究紀要 — 11 — (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告 第157集 上野国分寺跡 上野国分二寺中間地域	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第167集 元宗寺寺田遺跡II 一級河川牛池川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第2集(木器編)	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告集 第169集 関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告集 第23集黒熊山西遺跡(2)	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告 第159集 関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書 第20集 多比良平野遺跡 白石根岸遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第153集 少林山台砂防施設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 少林山台遺跡 — 後期弥生時代集落・群集墳の調査 —	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
遺跡に学ぶ 第4号 年報 — 13 — 遺跡に学ぶ 第5号	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

書名	寄贈者等名
岩宿時代通信 Origin 第7号 笠懸町「岩宿の里」 笠懸野岩宿文化資料館施設設備観(整備概要)	笠懸野岩宿文化資料館
岩宿時代通信 Origin 第9号 第9回企画展 展示図録 岩宿時代の画期を見る	笠懸野岩宿文化資料館
第2回 岩宿フォーラム/シンポジウム 群馬の岩宿時代の変遷と特色 原稿集	笠懸野岩宿文化資料館
岩宿時代通信 Origin 第10号 群馬町文化財だより No.1	笠懸野岩宿文化資料館
群馬町埋蔵文化財調査報告 第32集 町内遺跡II 群馬町埋蔵文化財調査報告 第36集 南部遺跡群 群馬市事業南部土地地区画整理事業に係わる埋蔵文化財発掘調査	笠懸野岩宿文化教育委員会
高崎市文化財調査報告書 第107集 高崎城遺跡Ⅳ・V 高崎市文化財調査報告書 第128集 高岡村前遺跡 高崎市文化財調査報告書 第129集 高崎城VIII・IX 高崎城三ノ丸遺跡 高崎市文化財調査報告書 第130集 東町III遺跡 高崎市文化財調査報告書 第131集	高崎市教育委員会
高崎市内遺跡埋蔵文化財緊急発掘調査報告書 高崎市文化財調査報告書 第132集 岩鼻坂上北遺跡 八幡原灰塚II遺跡 飯塚新田西・雁田遺跡 高崎市内水道遺跡一覧 高崎市文化財調査報告書 第133集 史跡日高道路	高崎市教育委員会
遺構分布確認試掘調査概要 I 上佐野舟橋遺跡 埋蔵文化財発掘調査報告書 群馬県高崎市 倉賀野万福寺II遺跡 発掘調査報告書 上中居西屋敷遺跡 発掘調査報告書 矢島町葉崩れ遺跡 発掘調査報告書 下大類蟹沢遺跡	高崎市教育委員会
一下大類住宅閉地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 — 発生をたずねて 第12回埋れた古代の高崎 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書 第164集 一般国道17号(上武道路)地域埋蔵文化財発掘調査報告書 二之宮宮東遺跡 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書 第165集 一般国道50号(東前橋折返)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第2集 今井道上遺跡 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書 第170集 一般国道50号(東前橋折返)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第3集 筍井八日市遺跡 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書 第161集 関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書 第21集 天引狐崎 遺跡I・白倉下原・天引向原遺跡 I (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書 第160集 白井遺跡群 —集落編—(白井二位屋遺跡) 一般国道17号(解説マイバス)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第2集 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書 第144集 一般国道17号(上武道路)地域埋蔵文化財発掘調査報告書 五目牛清水田遺跡 関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書 第24集 矢田遺跡V 古墳時代住居跡編 (2)	高崎市教育委員会 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 (財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団 (財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団 (財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第132集 大宮市 水戸土産の内・林光寺・根切 鶴川河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第133集 滑川町大沼遺跡 国営武藏丘陵森林公園関係埋蔵文化財発掘調査報告書 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第134集 和光市 花ノ木・向原・柿ノ木坂・水久保・丸山台 東北総貿易自動車道(東京外環自動車)関係埋蔵文化財発掘調査報告書	埼玉県埋蔵文化財調査事業団 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

書名	寄贈者等名
埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第135集 寄居町 楡ノ下遺跡	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県住宅供給公社リバーサイド玉淀建設事業関係埋蔵文化財発掘調査報告	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第136集 坂戸市 足洗遺跡	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
住宅・都市整備公団坂戸入西地区土地区画整理事業関係埋蔵文化財発掘調査報告 —VII—	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第137集 川越市・日高市・光山遺跡群 首都圏中央連絡自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告 —II—	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第138集 比企郡嵐山町・大野田西遺跡	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
嵐山工業団地関係埋蔵文化財発掘調査報告 —II—	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第139集 上尾市 稻持台遺跡	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県障害者リハビリテーションセンター増床事業関係埋蔵文化財発掘調査報告	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第140集 鴻巣市 新屋敷遺跡 —A区—	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県鴻巣警察署改築関係埋蔵文化財発掘調査報告	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第141集 莲田市 桜井遺跡 県道上尾久喜線関係埋蔵文化財発掘調査報告	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第142集 蒲沢市 清瀬遺跡	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
国道463号(旧県道所沢人間線)関係埋蔵文化財発掘調査報告	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第143集 大里郡寄居町 桜沢窯跡	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
寄居地区集団設置建物建設事業関係埋蔵文化財発掘調査報告	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第144集 浦和市 原山坊ノ在家遺跡	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
県営原山四丁目団地関係埋蔵文化財発掘調査報告書	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
研究紀要 第10号	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
年報14号 平成5年度	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
稻荷前遺跡 (B・C区)	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
金井遺跡 B区	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第149集 矢島南遺跡	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第157集 上太寺遺跡	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第159集 中妻三丁目遺跡	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
ミュージアム行田 行田市郷土博物館だより No13 埋文さいたま 第16号	(財)埼玉県立埋蔵文化財センター
埼玉県立埋蔵文化財センター年報3 —平成4年度—	(財)埼玉県立埋蔵文化財センター
考古学稿 ⑪～⑯	(財)埼玉県立埋蔵文化財センター
埋文さいたま 第17号	(財)埼玉県立埋蔵文化財センター
埋文さいたま 第18号	(財)埼玉県立埋蔵文化財センター
研究紀要 第16号	(財)埼玉県立歴史資料館
資料館ガイドブック10 埼玉の武者絵馬	(財)埼玉県立歴史資料館
資料館ガイドブック11 埼玉の瓦塔	(財)埼玉県立歴史資料館
埼玉県立歴史資料館報 第15号	(財)埼玉県立歴史資料館
文化財だより —第13号—	(財)埼玉町教育委員会
<b>千葉県</b>	
きみさらづ —第4号—	(財)君津都市文化財センター
きみさらづ —第5号—	(財)君津都市文化財センター
財团法人君津都市文化財センター発掘調査報告書 第71集 —千葉県袖ヶ浦市— 美生遺跡群I 第1地点	(財)君津都市文化財センター
財团法人君津都市文化財センター発掘調査報告書 第79集 —千葉県富津市— 鮫野附屋二の丸路	(財)君津都市文化財センター
—富津市下飯野町造成に伴う埋蔵文化財調査—	(財)君津都市文化財センター
財团法人君津都市文化財センター発掘調査報告書 第86集 —千葉県木更津市— 林道路II	(財)君津都市文化財センター
道路改良工事(市道145号線)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書III	(財)君津都市文化財センター

書名	寄贈者等名
財団法人君津都市文化財センター発掘調査報告書 第88集 —千葉県君津市— 戸崎城山遺跡C地点	(財) 君津都市文化財センター
財団法人君津都市文化財センター発掘調査報告書 第89集 —千葉県君津市— 稲条里遺跡III	(財) 君津都市文化財センター
財団法人君津都市文化財センター発掘調査報告書 第94集 —千葉県袖ヶ浦市— 下向山遺跡	(財) 君津都市文化財センター
財団法人君津都市文化財センター発掘調査報告書 第96集 —千葉県富津市— 上北原古墳	(財) 君津都市文化財センター
財団法人君津都市文化財センター発掘調査報告書 第97集 —千葉県富津市— 横峰遺跡	(財) 君津都市文化財センター
財団法人君津都市文化財センター発掘調査報告書 第98集 千葉県君津市 外賀輪遺跡系発掘調査報告書	(財) 君津都市文化財センター
君津都市文化財センター 研究紀要VI	
君津都市文化財センター年報 №11 平成4年度	(財) 君津都市文化財センター
(財) 君津都市文化財センター発掘調査報告書 第69集 文脇遺跡	(財) 君津都市文化財センター
(財) 君津都市文化財センター発掘調査報告書 第84集 —千葉県木更津市— 請西遺跡群III 鹿島塚A遺跡	(財) 君津都市文化財センター
(財) 君津都市文化財センター発掘調査報告書 第87集 —千葉県木更津市— 蓬華寺遺跡II	(財) 君津都市文化財センター
(財) 君津都市文化財センター発掘調査報告書 第90集 —千葉県袖ヶ浦市— 喜登遺跡・大竹長作古墳群	(財) 君津都市文化財センター
市道128号線建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	
(財) 君津都市文化財センター発掘調査報告書 第100集 —千葉県袖ヶ浦市— 上大城遺跡発掘調査報告書	(財) 君津都市文化財センター
(財) 君津都市文化財センター発掘調査報告書 第101集 —千葉県袖ヶ浦市— 神田遺跡・神田古墳群	(財) 君津都市文化財センター
きみさらづ 第6号 —	
千葉県香取郡小見川町 御座ノ内遺跡	(財) 君津都市文化財センター
(財) 香取都市文化財センター調査報告書 第12集 仲ノ台遺跡	(財) 香取都市文化財センター
四谷内谷津遺跡	
窪谷大屋戸II遺跡	
乞喰推遺跡	
千葉県香取郡東庄町 栗野台遺跡発掘調査報告書	
山武都市文化財センター広報紙 文化財かわら版 設立10周年記念号	
(財) 山武都市文化財センター発掘調査報告書 第19集 油井古墳原遺跡 丑子第037地点	(財) 山武都市文化財センター
(財) 山武都市文化財センター発掘調査報告書 第20集 古内遺跡	(財) 山武都市文化財センター
(財) 山武都市文化財センター発掘調査報告書 第18集 南麦台遺跡 私たちの文化財 21	(財) 山武都市文化財センター
第9回市原市文化財センター遺跡発表会要旨 平成5年度	(財) 市原市文化財センター
市原市文化財センター年報 昭和63年度	(財) 市原市文化財センター
市原市文化財センター年報 平成元年度	(財) 市原市文化財センター
財団法人市原市文化財センター調査報告書 第48集 市原市山田橋浜の回海道貝塚	(財) 市原市文化財センター
財団法人市原市文化財センター調査報告書 第50集 市原市安須古墳群	(財) 市原市文化財センター
財団法人市原市文化財センター調査報告書 第51集 市原市袖崎東原遺跡B地点	(財) 市原市文化財センター
財団法人市原市文化財センター調査報告書 第52集 市原市持戸遺跡・持戸供養塚	(財) 市原市文化財センター
房総の文化財 —第5号—	
千葉県文化財センター研究紀要14 二十年の歩み 千葉県文化財センター創立二十周年記念誌	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 242集 四街道市鶴山遺跡 (1)	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 243集 八千代市櫛現後遺跡・北海道遺跡・井戸向遺跡	(財) 千葉県文化財センター
— 葦田地区埋蔵文化財調査報告書VII —	
千葉県文化財センター調査報告 245集	(財) 千葉県文化財センター

書名	寄贈者等名
八千代市沖塚遺跡・上の台遺跡ほか — 東葉高速鉄道埋蔵文化財調査報告書 —	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 244集 新東京国際空港埋蔵文化財調査報告書VIII (空港N60遺跡) 取香和田戸遺跡	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 246集 妙経遺跡・井戸谷9号墳	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 247集 海上町岩井安田遺跡	(財) 千葉県文化財センター
—海上キャンプ場改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 248集 唐金市道庭遺跡	(財) 千葉県文化財センター
—農業大学校ハイテク棟建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 249集 野田市岩名台4遺跡	(財) 千葉県文化財センター
—住宅地閑通公共施設等整備促進事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 250集 印西町小林城跡	(財) 千葉県文化財センター
—一般競争入札印西印綱線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 251集 下総町長柄葉遺跡	(財) 千葉県文化財センター
—主要地方道成田下総線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書IV—	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 252集 千葉市矢作貝塚II	(財) 千葉県文化財センター
—千葉県浄水場内連絡管敷設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書IV—	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 253集 土気城の森工事団地内発掘調査報告書	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 254集 市原市南青野遺跡	(財) 千葉県文化財センター
—千葉県ごどもの園施設整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 255集 沼南町 石揚遺跡	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 256集	(財) 千葉県文化財センター
千葉県中世城跡研究調査報告書 第14集 —土気城跡・池和田城跡測量調査報告— 平成5年度	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 257集 市川市川焼瓦窯跡発掘調査報告書	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 258集 野田市東金野井貝塚発掘調査報告書 平成5年度	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化財センター調査報告 259集 長納町横穴群徳増文群発掘調査報告書	(財) 千葉県文化財センター
研究連絡誌 第39号	(財) 千葉県文化財センター
研究連絡誌 第40号	(財) 千葉県文化財センター
研究連絡誌 第42号	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化センター研究紀要16 —20周年記念論集—	(財) 千葉県文化財センター
房総の文化財 —第6号—	(財) 千葉県文化財センター
千葉県文化センター年報 No19 —平成5年度—	(財) 千葉県文化財センター
房総考古学ライブリー8 歴史時代 (2)	(財) 千葉県文化財センター
国立歴史民俗博物館研究報2	(財) 千葉県文化財センター
国立歴史民俗博物館研究報告 第58集	國立歴史民俗博物館
日本・韓国の鉄生産技術〈調査編I〉	國立歴史民俗博物館
国立歴史民俗博物館研究報告 第59集	國立歴史民俗博物館
日本・韓国の鉄生産技術〈調査編2〉	國立歴史民俗博物館
国立歴史民俗博物館研究報告 第61集 共同研究「生命観」 —とくにヒトと動物との区別認識についての研究—	國立歴史民俗博物館
国立歴史民俗博物館研究報告 第62集	國立歴史民俗博物館
共同研究「日本人の色彩感覚に関する史的研究」	財團法人印旛都市文化財センター
財團法人印旛都市文化財センター年報10 —平成5年度—	財團法人印旛都市文化財センター
財團法人印旛都市文化財センター年報9 —平成4年度—	財團法人印旛都市文化財センター
財團法人印旛都市文化財センター発掘調査報告書 第69集	財團法人印旛都市文化財センター
千葉県印旛都市印西町胸形北遺跡発掘調査報告書	財團法人印旛都市文化財センター
財團法人印旛都市文化財センター発掘調査報告書 第70集	財團法人印旛都市文化財センター
千葉県佐倉市上座老番原遺跡発掘調査報告書	財團法人印旛都市文化財センター
佐倉市上座老番原開発予定地内埋蔵文化財調査	財團法人印旛都市文化財センター
財團法人印旛都市文化財センター発掘調査報告書 第71集	財團法人印旛都市文化財センター
千葉県佐倉市高岡遺跡群1	財團法人印旛都市文化財センター
佐倉市高岡地区宅地造成予定地内埋蔵文化財調査報告書 (I)	財團法人印旛都市文化財センター
財團法人印旛都市文化財センター発掘調査報告書 第71集	財團法人印旛都市文化財センター
千葉県佐倉市高岡遺跡群2	財團法人印旛都市文化財センター
佐倉市高岡地区宅地造成予定地内埋蔵文化財調査報告書 (II)	財團法人印旛都市文化財センター

書名	寄贈者等名
財団法人印旛都市文化財センター発掘調査報告書 第75集 千葉県成田市公津東遺跡群 I —成田市公津東地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書—	財団法人印旛都市文化財センター
財団法人印旛都市文化財センター発掘調査報告書 第76集 千葉県印旛郡酒々井町尾上柳作遺跡 —酒々井町尾上柳作ガソリンスタンド建設予定地内埋蔵文化財調査報告書—	財団法人印旛都市文化財センター
財団法人印旛都市文化財センター発掘調査報告書 第77集 千葉県印旛郡酒々井町 繩山新田六ツ塚道跡発掘調査報告書	財団法人印旛都市文化財センター
財団法人印旛都市文化財センター発掘調査報告書 第78集 千葉県佐倉市白井田小笠台遺跡発掘調査報告書 —ファーマ用地内埋蔵文化財調査—	財団法人印旛都市文化財センター
財団法人印旛都市文化財センター発掘調査報告書 第83集 千葉県印旛郡白井町木曾地遺跡発掘調査報告書 —昭和シェル給油所予定地内埋蔵文化財調査	財団法人印旛都市文化財センター
財団法人印旛都市文化財センター発掘調査報告書 第85集 千葉県佐倉市城番塚遺跡発掘調査報告書 —佐倉市域地区独身寮建設に伴う埋蔵文化財調査—	財団法人印旛都市文化財センター
財団法人印旛都市文化財センター発掘調査報告書 第87集 千葉県印旛郡白井町二部山遺跡発掘調査報告書 —白井、沼南上地区画整理事業地内埋蔵文化財調査—	財団法人印旛都市文化財センター
千葉県富津市内遺跡発掘調査報告書 事業報告II — 平成2年度・平成3年度 —	財団法人君津群市文化財センター
千葉県香取郡神崎町 館山遺跡 (財)香取郡市文化財センター調査報告書 第13集	財団法人香取郡市文化財センター
千葉県香取郡東庄町 西塚南古墳群 農業構造改善センター建設に伴う埋蔵文化財調査 (財)香取郡市文化財センター調査報告書 第15集	財団法人香取郡市文化財センター
千葉県香取郡多古町 五十塚古墳群 (財)香取郡市文化財センター調査報告書 第16集	財団法人香取郡市文化財センター
千葉県香取郡神崎町 台阿らく遺跡 — 神崎町浄水場建設予定地の調査— (財)香取郡市文化財センター調査報告書 第17集	財団法人香取郡市文化財センター
千葉県香取郡小見川町 城山4号墳 (財)香取郡市文化財センター調査報告書 第19集	財団法人香取郡市文化財センター
千葉県香取郡東庄町 雄野谷大屋戸遺跡 (財)香取郡市文化財センター調査報告書 第20集	財団法人香取郡市文化財センター
千葉県香取郡東庄町 青馬新塚遺跡 (財)香取郡市文化財センター調査報告書 第27集	財団法人香取郡市文化財センター
千葉県香取郡小見川町 識藩カジ山道跡群 (財)香取郡市文化財センター調査報告書 第22集	財団法人香取郡市文化財センター
山武郡市文化財センター発掘調査報告書 第14集 小池木戸脇遺跡 千葉県東金市 上布田向遺跡 I さんぶぐんしんむかざいせんたーこうほうし 文化財かわら版 第3号	財団法人山武郡市文化財センター
山武町不特定遺跡発掘調査報告書 島戸境1号墳 財團法人山武郡市文化財センター年報 №9 — 平成4年度 —	財団法人山武郡市文化財センター
財團法人山武郡市文化財センター発掘調査報告書 第21集 田向跡 財團法人山武郡市文化財センター発掘調査報告書 第22集 上布田向遺跡 II	財団法人山武郡市文化財センター
研究連絡誌 第41号 千葉県文化財センター研究紀要15 平成5年度山武町内遺跡群発掘調査報告書	財団法人千葉県文化財センター
下総国分寺跡 平成元～5年度発掘調査報告書 千葉大学文学部考古学研究報告 第1冊 城ノ台南貝塚発掘調査報告書 —千葉県香取郡小見川町—	財団法人千葉県文化財センター 山武町教育委員会 市立市川考古博物館 千葉大学考古学研究室
千葉県館山市 大寺山洞穴 第1次発掘調査概報 平成5年度 東金市内遺跡発掘調査報告書 油井古塚原遺跡(壬子台地点) 東金市の文化財	千葉大学文学部考古学研究室 東金市教育委員会 東金市教育委員会

書名	寄贈者等名
<b>東京都</b> 青丘学術集 第4集 青丘学術集 第5集 多摩の遺跡展 発掘物語	(財)韓国文化研修振興財團 (財)韓国文化研修振興財團 (財)東京都教育文化財團東京都埋蔵文化財センター (財)東京都教育文化財團東京都埋蔵文化財センター
東京都埋蔵文化財センター調査報告 第17集 東京都千代田区丸ノ内三丁目遺跡 — 東京国際フォーラム建設予定地の江戸遺跡の調査 — 第1分冊 東京都埋蔵文化財センター調査報告 第17集 東京都千代田区丸ノ内三丁目遺跡 — 東京国際フォーラム建設予定地の江戸遺跡の調査 — 第2分冊 東京都埋蔵文化財センター調査報告 第17集 東京都千代田区丸ノ内三丁目遺跡 — 東京国際フォーラム建設予定地の江戸遺跡の調査 — 附編 平成6年度 東京都埋蔵文化財センター要覧	(財)東京都教育文化財團東京都埋蔵文化財センター
尾張藩上屋敷跡調査発掘調査概要 I	(財)東京都教育文化財團東京都埋蔵文化財センター
尾張藩上屋敷跡調査発掘調査概要 II	(財)東京都教育文化財團東京都埋蔵文化財センター
対論 銅鐸 森浩一 石野博信 歴史跡参考地石室現況調査報告 平成4年度陵墓関係調査概要	(財)東京都教育文化財團東京都埋蔵文化財センター
湘南藤沢キャンパス内遺跡情報基盤センター(仮称) 慶應義塾湘南藤沢キャンパス埋蔵文化財調査団編 水草木遺跡 東京都西多摩郡五日市町市計画道路 秋3・5・2号線水草木遺跡発掘調査報告書	株式会社学生社 宮内庁書陵部陵墓課
情報祭祀考古新刊号 東京都埋蔵文化財センター年報13 平成4(1992)年度	慶應義塾
東京都埋蔵文化財センター 研究論集III	五日市市立五日市町郷土館
東京都埋蔵文化財センター調査報告 第15集 多摩ニュータウン遺跡 平成3年度(第1分冊)	祭祀考古学会
東京都埋蔵文化財センター調査報告 第15集 多摩ニュータウン遺跡 平成3年度(第3分冊)	財団法人東京都教育文化財團東京都埋蔵文化センター
東京都埋蔵文化財センター調査報告 第15集 多摩ニュータウン遺跡 平成3年度(第4分冊)	財団法人東京都教育文化財團東京都埋蔵文化センター
東京都埋蔵文化財センター調査報告 第15集 多摩ニュータウン遺跡 平成3年度(第5分冊)	財団法人東京都教育文化財團東京都埋蔵文化センター
東京都埋蔵文化財センター調査報告 第16集 多摩ニュータウン遺跡 — №300遺跡 —	財団法人東京都教育文化財團東京都埋蔵文化センター
東京都渋谷区 青山学院構内遺跡(青山会館増改築地点) — 伊予西条藩松平家上屋敷跡の調査 —	青山学院構内遺跡調査委員会
松平出羽守抱屋敷 初台遺跡(1993) 出雲国松江藩抱屋敷発掘調査報告	千駄ヶ谷五丁目遺跡調査会
城山遺跡の調査 早稲田大学上石神井地埋蔵文化財調査報告書	早稲田大学校地埋蔵文化財調査室
早稲田大学校地埋蔵文化財調査室編 早稲田大学戸山キャンパス埋蔵文化財調査概報	早稲田大学第一・第二文学部 町田木曾森野地区意識調査会
東京都町田市 木曾森野遺跡II 旧石器・縄文時代編 東京大学文学部考古学研究室研究紀要 第12号	東京大学文学部考古学研究室 日の出町三吉野久上遺跡調査団
三吉野久上 — 日の出三吉野上地区面積整理事業にともなう1992年度発掘調査報告書 —	日本考古学協会
(財)香取都市文化財センター — 明治大学考古学博物館報 No.9	明治大学考古学博物館
<b>神奈川県</b> 海老名市史9 別編 民俗 海老名市史3 資料編 近世I 厚木市史 古代資料編 (I)	海老名市役所 海老名市役所 厚木市秘書部史編さん室

書名	寄贈者等名
神奈川県埋蔵文化財調査報告36 平成4年度神奈川県埋蔵文化財緊急発掘調査概要 平成4年度神奈川県埋蔵文化財発掘調査概要 神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告21 宮ヶ瀬遺跡群VI 北原 (No.9) 遺跡 <2> 北原 (No.11) 宮ヶ瀬ダム建設にともなう調査 池子遺跡群調査だより 29 池子遺跡群調査だより 30 池子遺跡群調査だより 31 池子遺跡群調査だより 32 かながわの遺跡展 展示図録 かながわの弥生文化 かながわの考古学 第4集 神奈川の考古学の諸問題 神奈川県立埋蔵文化財センター年報13 平成5年度 専修史学 第26号 川崎市市民ミュージアム考古学叢書1 線刻画 王禅寺白山横穴墓群の調査 —付補道・早野横穴墓の線刻画—	神奈川県教育委員会 神奈川県立埋蔵文化財センター 神奈川県立埋蔵文化財センター 神奈川県立埋蔵文化財センター 神奈川県立埋蔵文化財センター 神奈川県立埋蔵文化財センター 神奈川県立埋蔵文化財センター 神奈川県立埋蔵文化財センター 神奈川県立埋蔵文化財センター 神奈川県立埋蔵文化財センター 神奈川県立埋蔵文化財センター 専修大学歴史学会 川崎市市民ミュージアム
山梨県 帝京大学山梨文化財研究所報 第22号 帝京大学山梨文化財研究所研究報告 第5集 明野村文化財調査報告 8 神取 県営園場整備事業に伴う縄文時代・古墳時代及び平安時代の集落遺跡の発掘 調査報告書 帝京大学 山梨文化財研究所報 第21号 第5回「考古学と中世史研究」シンポジウム 「中世」から「近世」へ —中世考古学及び隣接諸学から— 資料集	(財) 山梨文化財研究所 (財) 山梨文化財研究所 山梨県教育委員会
長野県 (財)長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書17 中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書14 —長野市内その2— 鶴前遺跡 (財)長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書18 主要地方道長野大町線埋蔵文化財発掘調査報告書 —美麻村内— 千見遺跡 (財)長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書16 中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書13 —更埴市内・長野市内その1— 長野県埋蔵文化財センター年報9 長野県埋蔵文化財ニュース No.35 長野県埋蔵文化財ニュース No.36・37 (財)長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書19 県道中野豊野線ハイバス志賀中野有料道路埋蔵文化財発掘調査報告書 —長野県中野市内— 栗林遺跡 七瀬遺跡 長野県立歴史館より	(財)長野県埋蔵文化財センター (財)長野県埋蔵文化財センター (財)長野県埋蔵文化財センター (財)長野県埋蔵文化財センター (財)長野県埋蔵文化財センター (財)長野県埋蔵文化財センター 財團法人長野県埋蔵文化財センター
冬号 Vol. 1	長野県立歴史館
新潟県 新潟県埋蔵文化財調査報告書 第61集 鰐越自動車道関係発掘調査報告書 萩谷遺跡 官林遺跡 新潟県埋蔵文化財調査報告書 第64集 鰐越自動車道関係発掘調査報告書 上ノ平遺跡A地点 埋文にいがた No.6 埋文にいがた No.7 埋文にいがた No.8 埋文にいがた No.9 新潟県埋蔵文化財調査報告書 第58集 盤越自動車道関係発掘調査報告書 沖ノ羽遺跡 I (A地区) 新潟県埋蔵文化財調査報告書 第59集 盤越自動車道関係発掘調査報告書 細池遺跡・寺道上遺跡	(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団 財團法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 財團法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

書名	寄贈者等名
新潟県埋蔵文化財調査報告書 第60集 北陸自動車道上越市春日・木田地区発掘調査報告書IV 一之口遺跡東地区(本文編)(図版編)	財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
新潟県埋蔵文化財調査報告書 第62集 横雲バイパス関係発掘調査報告書 上郷遺跡I	財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
新潟県埋蔵文化財調査報告書 第63集 国道18号線視路改良工事発掘調査報告書 関川関所跡 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団年報 1994	財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
<b>富山県</b> 能越自動車道関係埋蔵文化財包蔵地調査報告(小矢部市~福岡町間) 埋蔵文化財年報(4) 埋蔵文化財年報(5) 平成5年度	(財)富山県文化振興財團埋蔵文化財調査事務所 (財)富山県文化振興財團埋蔵文化財調査事務所 (財)富山県文化振興財團埋蔵文化財調査事務所 財団法人富山県文化振興財團埋蔵文化財調査事務所
富山県文化振興財團埋蔵文化財発掘調査報告 第5集 梅原胡麻堂遺跡発掘調査報告(遣構編) —東海北陸自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘報告I— 小杉町小杉流通業務団体内 Na1遺跡 発掘調査報告 小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧 1992年度 小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧 1993年度 小杉町針原東遺跡発掘調査報告 大門町埋蔵文化財調査報告書 農道整備事業調査改良工事に伴う発掘調査報告 富山市大門町 串田新道跡Ⅶ 大門町埋蔵文化財調査報告 第6集 布目沢北遺跡 発掘調査概要 埋文とやま 第44号 埋文とやま 第45号 埋文とやま 第46号 平成6年度特別企画展 古代の須恵器 —新技术の伝来— 富山県埋蔵文化財センター年報 平成5年度 富山県総合運動公園内遺跡発掘調査報告(4) 富山県小杉町・大門町小杉流通業務団体内遺跡群 第12次発掘調査概要 Na14A遺跡 富山市三熊中山窯跡発掘調査概要	小杉町教育委員会 小杉町教育委員会 小杉町教育委員会 小杉町教育委員会 大門町教育委員会  大門町教育委員会 富山県埋蔵文化財センター 富山県埋蔵文化財センター 富山県埋蔵文化財センター 富山県埋蔵文化財センター 富山県埋蔵文化財センター 富山県埋蔵文化財センター 富山県埋蔵文化財センター 富山市教育委員会富山市埋蔵文化財調査委員会
<b>石川県</b> 石川県小松市 平面柳川改修工事関係埋蔵文化財調査報告書 I 金沢大学考古学紀念 第21号 栗田遺跡発掘調査報告書 拓影 石川県埋蔵文化財センター所報 第43号 拓影 石川県埋蔵文化財センター所報 第44号 拓影 石川県埋蔵文化財センター所報 第45号 石川県埋蔵文化財センター年報 第14号 大屋ヒヤマ窯跡・寺家クロバケ窯跡 国営珠洲第二地区開拓建設事業に係る埋蔵文化財試掘調査報告書 石川県七尾市 三室まとがけ古墳群 正友ヤチャマ窯跡 —広域宮農团地農道整備事業羽咋地区に係る発掘調査報告書— 大津ロクヌ遺跡II 一般国道470号線(能越自動車道)改良工事に係る埋蔵文化財緊急発掘調査報告書 軽海西芳寺遺跡 金沢城跡 石川門前発掘調査概要報告書 和住下遺跡 1993年度調査の概要 能美丘陵東遺跡群I いしかわサイエンスパーク整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 畠田遺跡	(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター 金沢大学文学部考古学講座 社団法人石川県埋蔵文化財保存協会 石川県埋蔵文化財センター



書名	寄贈者等名
研究所報 No.53 10年のあゆみ 設立10周年記念誌1995	(財) 静岡県埋蔵文化財調査研究所
静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第25集 川合遺跡(遺構編)	(財) 静岡県埋蔵文化財調査研究所
平成元年度静清バイパス(川合地区)埋蔵文化財発掘調査報告書 本文編	(財) 静岡県埋蔵文化財調査研究所
静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第31集 宮下道路(遺構編)	(財) 静岡県埋蔵文化財調査研究所
平成2年度静清バイパス(川合地区)埋蔵文化財発掘調査報告書	(財) 静岡県埋蔵文化財調査研究所
静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第43集 瀬名遺跡II(遺構編II)昭和61・62・63	(財) 静岡県埋蔵文化財調査研究所
平成元・2年度静清バイパス(瀬名地区)埋蔵文化財発掘調査報告書	(財) 静岡県埋蔵文化財調査研究所
静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第50集 御殿川流域遺跡群II	(財) 静岡県埋蔵文化財調査研究所
平成2・3年度一級河川御殿川小規模河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	(財) 静岡県埋蔵文化財調査研究所
静岡県史より 第20号 袋井市春岡遺跡 — 区画整理事業に伴う春岡遺跡及び周辺遺跡所在確認調査報告書 — 土橋遺跡 — 平成3年度個人住宅建設に伴う緊急発掘調査概報 —	静岡県史編纂室 静岡県袋井市教育委員会
久野城跡 — 平成3年度基礎資料収集調査概報 —	静岡県袋井市教育委員会
坂尻遺跡 — 平成3年度貨貯庫建設に伴う緊急発掘調査概報 —	静岡県袋井市教育委員会
宇佐八幡境内遺跡	静岡県袋井市教育委員会
鶴松遺跡IV 延久地区農村基盤総合整備事業(集落型)施行に伴う鶴松遺跡第4次発掘調査報告書	静岡県袋井市教育委員会
鶴松遺跡V — 株式会社ジビタ住宅建設に伴う緊急発掘調査報告書 —	静岡県袋井市教育委員会
鶴松遺跡VI — 中部電力株式会社77KV盤田西掛川線一部増強工事に伴う緊急発掘調査報告書 —	静岡県袋井市教育委員会
袋井市長者平遺跡 — 昭和62年度国庫補助事業発掘調査報告書 —	静岡県袋井市教育委員会
袋井市長者平遺跡 — 市道山田川宝野線拡幅工事に伴う長者平遺跡緊急調査報告書 —	静岡県袋井市教育委員会
袋井市大畠遺跡 — 1978年度の発掘調査 —	静岡県袋井市教育委員会
袋井市大畠遺跡 — 62県営かんばい天竜川下流地区調査委託その1報告書 —	静岡県袋井市教育委員会
宇刈の横穴 — 字刈横穴N群82~85号穴発掘調査の概報 —	静岡県袋井市教育委員会
袋井市井戸ヶ谷第1号墳の調査	静岡県袋井市教育委員会
鶴松遺跡II(日本電信電話公社山口料無線中継所建設に伴う発掘調査報告書)	静岡県袋井市教育委員会
愛野向山A — 2・3・4号墳 —	静岡県袋井市教育委員会
— 昭和61年度緊急発掘調査概報 —	静岡県袋井市教育委員会
長者平遺跡 — 昭和61年度緊急発掘調査概報 —	静岡県袋井市教育委員会
袋井市原川城跡・坂尻遺跡(昭和63年度国庫補助事業緊急発掘調査報告書)	静岡県袋井市教育委員会
坂尻道下遺跡(平成元年度シノムラ科学館静岡工場増設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書)	静岡県袋井市教育委員会
坂尻遺跡	静岡県袋井市教育委員会
シノムラ科学工業株式会社事務所の増築工事に伴う発掘調査概報	静岡県袋井市教育委員会
原川城の場・坂尻遺跡(市道北原川村松西線道路改良工事に伴う調査報告書)	静岡県袋井市教育委員会
坂尻遺跡	静岡県袋井市教育委員会
— 平成2年度メロンハウス建設に伴う緊急発掘調査概報 —	静岡県袋井市教育委員会
袋井市三沢古墳群 — 昌造建土石採集事業に伴う三沢2号墳緊急調査報告書 —	静岡県袋井市教育委員会
袋井市鶴田II遺跡 — サンレンビル株式会社店舗・事業所並びに工場・倉庫建設工事に伴う鶴田II遺跡緊急調査報告書 —	静岡県袋井市教育委員会
堀越ジョウヤマ遺跡発掘調査報告書	静岡県袋井市教育委員会
愛知県 愛知県埋蔵文化財情報9 平成4年度	(財) 愛知県埋蔵文化財センター
愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第49集 室遺跡	(財) 愛知県埋蔵文化財センター
財団法人愛知県埋蔵文化財センター 年報 平成5年度	(財) 愛知県埋蔵文化財センター
愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第34集	(財) 愛知県埋蔵文化財センター
朝日遺跡V(図版編・索引編)(土器編・総論編)	(財) 愛知県埋蔵文化財センター
愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第48集 松川戸遺跡	(財) 愛知県埋蔵文化財センター
愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第50集	(財) 愛知県埋蔵文化財センター

書名	寄贈者等名
清洲城下町遺跡III 外町遺跡 愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第51集 跡ノ口遺跡 一色長畠遺跡 船橋宮裏遺跡 愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第52集 堀之内花ノ木遺跡 愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第53集 清洲城下町遺跡IV (本文編) (資料編) 愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第55集 貴生町遺跡II・III 月輪手遺跡II 愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第56集 黒田40・89号古窯跡 黒菴G 2号古窯跡 立崎古窯跡 埋蔵文化財愛知 No39 埋蔵文化財愛知 No40 一宮市博物館 博物館だより No17 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター調査報告 第8集 下半田川C窯跡 I 平成5年度 潟戸市埋蔵文化財センター年報 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 研究紀要 第2輯 (財)瀬戸市埋蔵文化財センター企画展 東海の中世墓	(財)愛知県埋蔵文化財センター (財)愛知県埋蔵文化財センター (財)愛知県埋蔵文化財センター (財)愛知県埋蔵文化財センター (財)愛知県埋蔵文化財センター (財)愛知県埋蔵文化財センター (財)愛知県埋蔵文化財センター (財)愛知県埋蔵文化財センター 一宮市博物館 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター
三重県 嬉野町埋蔵文化財調査報告11集 三重県一志郡嬉野町 天白遺跡 範囲確認調査報告 平成5年度 三重県埋蔵文化財センター年報5 一般国道23号 中勢道路 埋蔵文化財発掘調査概報VI 三重県埋文センター 通信みえ No13 一般国道42号 松阪・多気バイパス 埋蔵文化財発掘調査概報IV 三重県埋蔵文化財調査報告 92-2 伊勢庵寺・下川遺跡ほか 三重県埋蔵文化財調査報告119 名質群背山勝地へ妙楽地 川南D遺跡・勝地中世墓群発掘調査報告 第3回 三重県埋蔵文化財発掘調査報展 '93 発掘三重 三重県埋文センター 通信みえ No14 特別公開設立五周年記念 三重県の祭祀遺跡 — まつりのかたちさまざま — 三重県埋蔵文化財発掘調査報告100-4 山城遺跡・北嶺古遺跡 三重県埋蔵文化財調査報告115-1 一般国道23号中勢道路(9工区) 道路建設事業に伴う 松木遺跡・森山東遺跡・太田遺跡発掘調査報告 三重県埋文センター 通信みえ No15 発掘ってなんだろ? 研究紀要 第3号 三重県埋蔵文化財調査報告117 鈴鹿市木本町磐城山遺跡発掘調査報告 三重県埋蔵文化財調査報告120 一般県道穴穂南神津線道路改良工事に伴う小倉城古墳 — 安芸郡安油濃町南神山 — 津市埋蔵文化財調査報告24 上津部田城址(第3次) 発掘調査報告	嬉野町教育委員会 三重県埋蔵文化財センター 津市教育委員会
滋賀県 紀要 第7号 — 平成5年度調査埋蔵文化財展 — レトロ・レトロの展覧会'94 滋賀文化財だより No194 滋賀文化財だより No195 滋賀文化財だより No196 滋賀文化財だより No197 滋賀文化財だより No198 主要地方道大津・能登川・長浜線改良工事に伴う	(財)滋賀県文化財保護協会 (財)滋賀県文化財保護協会 (財)滋賀県文化財保護協会 (財)滋賀県文化財保護協会 (財)滋賀県文化財保護協会 (財)滋賀県文化財保護協会 (財)滋賀県文化財保護協会 (財)滋賀県文化財保護協会 (財)滋賀県文化財保護協会 (財)滋賀県文化財保護協会

書名	寄贈者等名
加茂遺跡・一ノ坪遺跡発掘調査報告書 長浜新川中小河川改修工事に伴う	(財)滋賀県文化財保護協会
鶴田遺跡発掘調査報告書III —長浜市大戎町所在—	(財)滋賀県文化財保護協会
滋賀文化財教室シリーズ No145号 国宝御上神社本殿	(財)滋賀県文化財保護協会
滋賀文化財教室シリーズ No146号 淡海の密教法具	(財)滋賀県文化財保護協会
滋賀文化財教室シリーズ No147号 高田敏輔とその門人	(財)滋賀県文化財保護協会
滋賀文化財教室シリーズ No148号 坂本の町並み景観	財団法人滋賀県文化財保護協会
滋賀文化財だより No192	財団法人滋賀県文化財保護協会
滋賀文化財だより No193	(財)滋賀県文化財保護協会
滋賀文化財だより No199	(財)滋賀県文化財保護協会
滋賀文化財だより No200	(財)滋賀県文化財保護協会
滋賀文化財だより No201	(財)滋賀県文化財保護協会
滋賀文化財だより No202	(財)滋賀県文化財保護協会
滋賀文化財だより No203	(財)滋賀県文化財保護協会
滋賀文化財だより No204	(財)滋賀県文化財保護協会
秋季特別展 残照 —本能寺からの織田一族—	安土城考古古博物館
滋賀文化財教室シリーズ No141号	財団法人滋賀県文化財保護協会
滋賀文化財教室シリーズ No142号	財団法人滋賀県文化財保護協会
滋賀文化財教室シリーズ No143号	財団法人滋賀県文化財保護協会
滋賀文化財教室シリーズ No144号	財団法人滋賀県文化財保護協会
春季特別展 弥生の祈り人 ～よみがえる農耕祭祀～	滋賀県立安土城考古古博物館
おおてみち 第7号	滋賀県立安土城考古古博物館
平成5年度 一年報—	滋賀県立安土城考古古博物館
紀要 —第2号—	滋賀県立安土城考古古博物館
第5回企画展 潤田コレクションより 「鉄砲のカラクリ」—近世の技術革新—	滋賀県立安土城考古古博物館
おおてみち 第8号	滋賀県立安土城考古古博物館
「織田信長と安土城」開館記念シンポジウム記録	滋賀県立安土城考古古博物館
第6回企画展古代文化の交差点 (スクランブル)	滋賀県立安土城考古古博物館
—文化は板田郡を通った—	滋賀県立安土城考古古博物館
おおてみち 第10号	滋賀県立安土城考古古博物館
第7回企画展 館蔵考古展 考古資料からみた近江の歴史	滋賀県立安土城考古古博物館
守山市文化財調査報告書 第39冊 —益須寺遺跡第15次発掘調査報告書—	守山市教育委員会
守山市文化財調査報告書 第52冊 古高遺跡第7次発掘調査報告書	守山市教育委員会
守山市文化財調査報告書 第53号 平成5年度国庫補助対象遺跡	守山市教育委員会
長浜市埋蔵文化財調査資料 第8集 塚町遺跡VI・VII	守山市教育委員会
—弥生時代前末期～中期前半・方形集溝墓群の調査—	守山市教育委員会
長浜市埋蔵文化財調査概報1 大塚遺跡	長浜市教育委員会
—彦根長浜都市計画道路事業に伴う発掘調査—	長浜市教育委員会
長浜文化財ファイル3 球部西遺跡	長浜市教育委員会
長浜文化財ファイル4 大戌亥・鶴田遺跡1	長浜市教育委員会
長浜文化財ファイル5 大戌亥・鶴田遺跡2	長浜市教育委員会
長浜文化財ファイル6 大戌亥遺跡	長浜市教育委員会
長浜文化財ファイル7 大塚遺跡	長浜市教育委員会
長浜文化財ファイル8 川崎遺跡	長浜市教育委員会
京都府研究紀要 第1号	(財)京都市埋蔵文化財研究所
平成元年度 京都市埋蔵文化財調査概要	(財)京都市埋蔵文化財研究所
平成2年度 京都市埋蔵文化財調査概要	(財)京都市埋蔵文化財研究所
研究紀要 第1号	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府埋蔵文化財情報 第52号	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府遺跡調査概報 第58冊	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府遺跡調査概報 第59冊	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
第12回小さな展覧会 京都発掘94'	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府埋蔵文化財情報 第53号	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府埋蔵文化財情報 第54号	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
古代学研究所研究紀要 第4編	(財)古代学協会
長岡京市埋蔵文化財センター年報 平成4年度	(財)長岡京市埋蔵文化財センター
岩倉幡枝2号墳 —木棺直葬の調査—	財団法人京都市埋蔵文化財研究所
京都市埋蔵文化財研究所調査報告 第12冊	京都市埋蔵文化財研究所

書名	寄贈者等名
昭和63年度 京都市埋蔵文化財調査概要	財団法人京都市埋蔵文化財研究所
平安京跡発掘調査概報 平成5年度	財団法人京都市埋蔵文化財研究所
鳥羽離宮跡発掘調査概報 平成5年度	財団法人京都市埋蔵文化財研究所
京都市内遺跡調査概報 平成5年度	財団法人京都市埋蔵文化財研究所
京都市内遺跡立会調査概報 平成5年度	財団法人京都市埋蔵文化財研究所
京都府埋蔵文化財情報 第51号	(財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府遺跡調査報告書 第20冊 天若道跡	(財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府遺跡調査概報 第56冊	(財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府遺跡調査概報 第57冊	(財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター
長岡京市文化財調査報告書 第32冊	長岡京市教育委員会
福知山市文化財調査報告書 第24集 カヤガ谷古墳群	福知山市教育委員会
福知山市文化財調査報告書 第25集 下山古墳群Ⅲ	福知山市教育委員会
福知山市文化財調査報告書 第26集	福知山市教育委員会
波江東古墳群・石場遺跡・半田遺跡・岩井遺跡・石原遺跡・土師遺跡	福知山市教育委員会
福知山市文化財調査報告書 第27集	福知山市教育委員会
西中筋東部地区遺跡群発掘調査概報 (興福寺音寺遺跡)	福知山市教育委員会
<b>大阪府</b>	
15年のあゆみ	
大阪市文化財論集	
(財) 大阪府埋蔵文化財協会調査報告書 第71集 池田寺遺跡IV	(財) 大阪市文化財協会
(財) 大阪府埋蔵文化財協会調査報告書 第78集 芝ノ垣外道跡II	(財) 大阪府埋蔵文化財協会
(財) 大阪府埋蔵文化財協会調査報告書 第80集 上フジ道跡III・三田古墳	(財) 大阪府埋蔵文化財協会
(財) 大阪府埋蔵文化財協会調査報告書 第81集 三ヶ山西道跡II	(財) 大阪府埋蔵文化財協会
(財) 大阪府埋蔵文化財協会調査報告書 第83集 男里道跡	(財) 大阪府埋蔵文化財協会
(財) 大阪府埋蔵文化財協会調査報告書 第85集 野ノ井遺跡	(財) 大阪府埋蔵文化財協会
(財) 大阪府埋蔵文化財協会調査報告書 第86集	(財) 大阪府埋蔵文化財協会
野ノ井遺跡・ON231号塚	
大阪府埋蔵文化財協会研究紀要 2	
第9回泉州の遺跡展	
—平成5年度遺跡発掘調査成果・堺市下田遺跡の銅鐸と木製品—	
現地説明会資料37 下田遺跡発掘調査	
現地説明会資料39 粟生間谷遺跡発掘調査	
現地説明会資料40 東奈良遺跡発掘調査	
10年のあゆみ	
大阪埋蔵文化財協会 研究紀要 3	
石才南道跡II・清見道跡II	
都市計画道路貝塚中央線建設に伴う発掘調査報告書	
(財) 大阪府埋蔵文化財協会調査報告書 第63輯	
難波池西道跡III	
都市計画道路大阪・岸和田・南海線建設に伴う発掘調査報告書	
(財) 大阪府埋蔵文化財協会調査報告書 第70輯	
陶邑・伏尾道跡II A地区	
近畿自動車道松原海南線建設に伴う発掘調査報告書	
(財) 大阪府埋蔵文化財協会調査報告書 第72輯	
吉井遺跡	
府営岸和田春木第2期住宅(建て替え)建設工事に伴う発掘調査報告書	
(財) 大阪府埋蔵文化財協会調査報告書 第73輯	
主兵衛堂 二級河川春木川改修工事に伴う発掘調査報告書	
(財) 大阪府埋蔵文化財協会調査報告書 第74輯	
大阪文化財センター通信 N11	
(財) 大阪文化財センター通信 N12	
図録 大坂城跡の調査1 大坂城跡発掘調査概要1	
図録 大坂城跡の調査2 大坂城跡発掘調査概要4	
図録 大坂城跡の調査3	
大坂城跡発掘調査概要5 大坂城跡の発掘調査 3 1993	
大坂城跡発掘調査現地説明会資料 Vol. 2 大坂城跡の発掘調査	
大阪文化財センター研究助成報告書 研究紀要 Vol. 1	
都市計画道路大阪モノレール建設に伴う	
和道遺跡発掘調査概要報告書	
巨摩・若江北(その3) 発掘調査概要	

書名	寄贈者等名
都市計画道路大阪中央環状線仮設迂回路建設に伴う巨摩・若江北遺跡埋蔵文化財発掘調査概要報告書 瓜生堂遺跡発掘調査報告	(財) 大阪文化財センター
大阪府工務省用水道改良事業分岐連絡管設置工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 新家(その5) 近畿自動車天理へ吹田線東大阪ジャンクション建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	(財) 大阪文化財センター
大阪府松原市 河合遺跡 一般府道本堂高井田線改良工事に伴う 青谷地区埋蔵文化財分布調査報告書 (財) 大阪文化財センター設立20周年記念公開シンポジウム みるきくふれる原始・古代のコメ作り —農耕の技術とまつり—	(財) 大阪文化財センター
国鉄 農耕の技術とまつり 池島・福万寺遺跡の調査から 大阪文化財研究 —第3号— 大阪文化財研究 —第4号— 大阪文化財研究 —第5号— 大阪文化財研究 —第6号— 大阪文化財研究 —20周年記念増刊号— 小阪遺跡 池島・福万寺遺跡 発掘調査概要図 —90-2 (H2)・90-5 調査区の概要— 東大阪市池島町・八尾市福万寺遺跡発掘調査概要II —90-3 調査区(1990年度)の概要— 弥生時代小字画水田・古墳時代集落・平安時代～近世条里型水田の調査 東大阪市池島町所在・池島・福万寺遺跡発掘調査概要V —90-7・8・9 調査区の概要— 池島・福万寺遺跡発掘調査概要VII —90-2 (H3) 調査区の概要— 東大阪市池島町・八尾市福万寺町 池島・福万寺遺跡発掘調査概要VIII —90-3 調査区(1991年度)の概要— 弥生時代小字画水田・飛鳥～近世条里型水田の調査 池島・福万寺遺跡発掘調査概要VIII —90-1 調査区1991年度の調査略報— 池島・福万寺遺跡発掘調査概要IV —90-1 調査区1990年度の調査略報— 大阪府埋蔵文化財研究会(第31回)資料 西之辻遺跡第23次発掘調査報告 西ノ辻遺跡第35次発掘調査報告 西ノ辻遺跡第36次発掘調査報告 神並遺跡III — 第二阪奈有料道路建設に伴う神並遺跡第13次発掘調査概要報告書 — 若江遺跡第44次発掘調査報告 東大阪市下水道事業関係発掘調査概要報告 — 1992年度 — 財团法人八尾市文化財調査研究会報告42 財团法人八尾市文化財調査研究会報告43 (財)八尾市文化財調査研究会報告44 高安古墳群 大石古墳 ひらかた文化財だより 第19号 ひらかた文化財だより 第20号 枚方市文化財年報13 (1991年度分) 国立民族学博物館 研究報告18巻4号 調査報告集14 国立民族学博物館国内資料調査委員会 国立民族学博物館研究報告 19巻1号 国立民族学博物館研究報告 19巻2号 国立民族学博物館国内資料調査委員会 調査報告集15 大阪市平野区 長原・瓜破遺跡発掘調査報告IV 1984年度大阪市長吉瓜破地区 土地上区画整理事業施行に伴う発掘調査報告 大阪城下町1丁目 一扶桑道修町ビル建設工事に伴う発掘調査 —	(財) 大阪文化財センター
財 团 法 人 大 阪 市 文 化 财 协 会	









書名	寄贈者等名
日本のなかのアジア文化 —漢字・南画・仏像— 古代オリエントからのメッセージ 暮らしの考古学展 広島県立歴史博物館ニュース 第21号	広島県立歴史博物館 広島県立歴史博物館 (財)広島県埋蔵文化財調査センター
広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書 第97集 東広島ニータウン遺跡群II	(財)広島県埋蔵文化財調査センター
広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書 第106集 東広島ニータウン遺跡群III	(財)広島県埋蔵文化財調査センター
広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書 第107集 東広島ニータウン遺跡群V	(財)広島県埋蔵文化財調査センター
広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書 第114集 西条第一地区画整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告II 埋蔵文化財発掘調査	(財)広島県埋蔵文化財調査センター
ひろしまの遺跡 第57号 ひろしまの遺跡 第58号	(財)広島県埋蔵文化財調査センター
庄原市文化財調査報告書1 朝清1・2号遺跡 庄原市文化財調査報告書2	(財)広島県埋蔵文化財調査センター
農村基盤整備バイロット事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 神辺町埋蔵文化財調査報告XIV —大宮遺跡発掘調査概要— 1993年度 広島県比婆郡東城町川町東大仙古墳群	庄原市教育委員会 庄原市教育委員会 神辺町教育委員会 東城町教育委員会
—第6号・第9号古墳発掘調査報告書—	
<b>山口県</b>	
山口市埋蔵文化財調査報告書 第48集 下道跡II —店舗建設に伴う発掘調査—	山口市教育委員会
山口市埋蔵文化財調査報告書 第49集 下嘉川遺跡	山口市教育委員会
山口市埋蔵文化財調査報告書 第50集 山口市内遺跡詳細分布調査(大内地区)	山口市教育委員会
山口大学構内遺跡調査研究年報X	山口大学埋蔵文化財資料館
山口大学埋蔵文化財資料館だより №18	山口大学埋蔵文化財資料館
山口大学埋蔵文化財資料館だより №19	山口大学埋蔵文化財資料館
山口大学埋蔵文化財資料館だより №20	山口大学埋蔵文化財資料館
山口大学埋蔵文化財資料館だより №21	山口大学埋蔵文化財資料館
美東町文化財調査報告 第3集 長登銅山跡I —古代製錬遺跡発掘調査報告—	美東町教育委員会
美東町文化財調査報告 第5集 長登銅山跡II	美東町教育委員会
<b>徳島県</b>	
阿波海南 大里出土銭 —中世期大量埋蔵銭の調査報告書— 市場町の文化財めぐり	会員会会会会会
池田町史 上巻	海市池田町史編集委員会
池田町史 中巻	海市池田町史編集委員会
池田町史 下巻	海市池田町史編集委員会
埋蔵文化財資料展 捜ったでよ阿波 「もの・技—文化の交流」	海市池田町史編集委員会
博物館ニュース №14	德島県立博物館
博物館ニュース №15	德島県立博物館
博物館ニュース №16	德島県立博物館
徳島県立博物館研究報告 第4号	德島県立博物館
博物館ニュース №17	德島県立博物館
第15回埋蔵文化財資料展 阿波を掘る 最近の発掘調査と徳島の縄文貝塚	德島県立博物館
徳島市埋蔵文化財発掘調査概要4 大坂の陣と徳島藩	德島市立博物館
徳島市立徳島城博物館年報 第1号(平成4年度)	德島市立博物館
鳴門市教育委員会文化財調査報告書I	鳴門市教育委員会
鳴門市埋蔵文化財調査報告書I 桧はちまき山遺跡	鳴門市教育委員会
桧丸山遺跡 桧寺前谷川遺跡	
福町史・別巻	
<b>香川県</b>	
財団法人香川県埋蔵文化財調査センター 研究紀要II	(財)香川県埋蔵文化財調査センター
	協町史編集委員会

書名	寄贈者等名
いにしえの讃岐 第9号	(財)香川県埋蔵文化財調査センター
いにしえの讃岐 第10号	(財)香川県埋蔵文化財調査センター
いにしえの讃岐 第11号	(財)香川県埋蔵文化財調査センター
四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第十五冊 龍川四条遺跡	香川県埋蔵文化財調査センター
四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第十六冊 川津二代取遺跡	香川県埋蔵文化財調査センター
四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第十七冊 郡家大林上遺跡	高松市教育委員会文化課
高松市埋蔵文化財調査報告 第23集 一般国道11号高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第二冊 沼・松ノ木遺跡	高松市教育委員会文化課
高松市埋蔵文化財調査報告 第24集 一般国道11号高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第三冊 沼・長池II遺跡	(財)香川県埋蔵文化財調査センター
四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第10冊 金堂寺下遺跡・西碑殿遺跡	(財)香川県埋蔵文化財調査センター
四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第14冊 川津中塙遺跡	(財)香川県埋蔵文化財調査センター
県道山崎御壁線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 正霜遺跡・美玉王遺跡	(財)香川県埋蔵文化財調査センター
県道バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 平成5年度 空港跡地道路発掘調査概報 平成5年度	(財)香川県埋蔵文化財調査センター
県道高松志度線道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 小山・南遺跡 平成5年度	(財)香川県埋蔵文化財調査センター
高校新設に伴う埋蔵文化財調査概報 多肥松林遺跡 平成5年度 濱戸内海歴史民族資料館紀要 第7号	瀬戸内海歴史民族資料館
青龍古墳調査報告書	善通寺市教育委員会文化振興室
～善通寺市内遺跡発掘調査事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書～	
<b>愛媛県</b>	
道後今市北郵政宿舎建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 埋文えひめ(第19・20号)	(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター
四国横断自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書X — 小松町編III — 松山市文化財調査報告書38 古照遺跡 — 第7次調査 — (第1分冊)	(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター
松山市文化財調査報告書39 古照遺跡 — 第7次調査 — (第2分冊)	(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター
松山市埋蔵文化財調査報告書39 上野遺跡	(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター
松山市埋蔵文化財調査報告書40 大峰ヶ谷丘陵の遺跡	(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター
朝美津1次 客谷古墳群B地区 北日谷1号墳	(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター
松山市埋蔵文化財調査報告書42 北久米淨蓮寺遺跡 ~3次調査地~	(財)松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター
松山市埋蔵文化財調査報告書45 石井幼稚園遺跡	(財)松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター
南中学校構内遺跡 — 第2次調査 —	(財)松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター
松山市文化財調査報告書41 東山古墳群 — 4・5次調査 —	(財)松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター
松山市文化財調査報告書43 斎院の遺跡 北斎院地内	(財)松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター
松山市埋蔵文化財調査年報VI 平成5年度	(財)松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター
松山市文化財調査報告書44 来住・久米地区的遺跡II	(財)松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター
松山市文化財調査報告書 第46集 桑原地区の遺跡II 一本文編・図版編 —	(財)松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター
江口貝塚II編後晩期編 —	(財)松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター
愛媛大学法医学部考古学研究報告 第3冊 四国縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書VI	愛媛大学法医学部考古学研究室
	財团法人愛媛県埋蔵文化財調査センター

書名	寄贈者等名
— 小松町編 I — 鶴来が元遺跡 四国縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ — 丹原町編 — 安養寺遺跡・宝ヶ口I遺跡・文台城跡・高月遺跡 四国縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書IX — 川内町編 — 表川東遺跡・竹ノ鼻遺跡・永野五輪塔 四国縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書V — 西条市編 — 横山城跡・船形遺跡・守成原遺跡・尾土居窯跡 四国縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書VII — 小松町編 — 大日寺V遺跡・大谷池東遺跡・妙口遺跡 北斎院地内遺跡(三次調査) — 宮中改第21号溝の1(2) 宮前川河川改修工事に伴う埋蔵文化財調査報告書 一般国道196号松山・北条バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書 I 福角古墳・福角遺跡 一般国道196号松山環状線埋蔵文化財発掘調査報告書II 大峰ヶ台地区 南江戸桑田遺跡 辻遺跡 大峰ヶ台II遺跡 多々羅大橋開通埋蔵文化財発掘調査報告書 多々羅製塩遺跡 愛媛県松山市 萩佐池古墳 — 木棺がのこされた横穴式石室の調査 — 愛媛県大西町 妙見山古墳概報集成 発掘調査概報 I・II・III	財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター 財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター 財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター 財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター 財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター 財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター 財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター 財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター 財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター 財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター 財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター 財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター 財団法人愛媛県考古館 大西町教育委員会
<b>高知県</b> 高知県埋蔵文化財センター年報2 1992年度 埋文こうち 第6号 埋文こうち 第7号	(財)高知県文化財团埋蔵文化財センター (財)高知県文化財团埋蔵文化財センター (財)高知県文化財团埋蔵文化財センター
<b>福岡県</b> 北九州市埋蔵文化財調査報告書 第130集 上清水遺跡 I 区(國文～古墳時代編) — 九州縦貫自動車道関係文化財調査報告書32 — 北九州市埋蔵文化財調査報告書 第141集 並瀬遺跡 第3地点 — 北九州市小倉南区大字合馬 — 北九州市埋蔵文化財調査報告書 第142集 浜田遺跡・脇ノ浦遺跡こうしんのう2号墳 — 主要地方道若松芦屋線建設工事 — 北九州市埋蔵文化財調査報告書 第144集 貫川遺跡8 — 豊川都市河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告7 — 北九州市埋蔵文化財調査報告書 第145集 寺内遺跡第1・2地点 — 北方地区改善事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 — 北九州市埋蔵文化財調査報告書 第146集 京町遺跡2 西業寺および町屋の調査 北九州市埋蔵文化財調査報告書 第147集 京町遺跡3 — 永照寺跡地(II-2区)の調査 — 北九州市埋蔵文化財調査報告書 第148集 京町遺跡4 — 永照寺跡地(II-3区)の調査 — 北九州市埋蔵文化財調査報告書 第149集 京町遺跡5(II-4区)の調査 — 小倉駅前東地区第一種市街地再開発事業関係 — 北九州市埋蔵文化財調査報告書 第150集 小倉城跡1 — 勝山公園地下駐車場建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 — 北九州市埋蔵文化財調査報告書 第153集 石田・原遺跡第5地点 — 倉庫建設に伴う弥生時代集落跡の調査 — 北九州市埋蔵文化財調査報告書 第154集 森山遺跡 北九州市埋蔵文化財調査報告書 第155集	財団法人北九州市教育文化事業団 財団法人北九州市教育文化事業団

書名	寄贈者等名
中烟遺跡第3地点 —県道新門司港大里線建設工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告書—	
北九州市埋蔵文化財調査報告書 第156集 那野町遺跡1	財団法人北九州市教育文化事業団
北九州市埋蔵文化財調査報告書 第157集 米町遺跡	財団法人北九州市教育文化事業団
北九州市埋蔵文化財調査報告書 第158集 山崎八ヶ戸墳墓群	財団法人北九州市教育文化事業団
北九州市埋蔵文化財調査報告書 第159集 菅生遺跡	財団法人北九州市教育文化事業団
—菅生中学校敷地内IV区の調査—	
埋蔵文化財調査年報10 平成4年度	財団法人北九州市教育文化事業団
研究紀要 第一号—(埋蔵文化財調査室開設15周年記念特集号)	財団法人北九州市教育文化事業団
萩浦の文化財 前原市萩浦地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財包蔵地発掘調査の速報3	前原市教育委員会
井原遺跡群井原地区の古墳群 井原地区県営は場整備事業に伴う文化財調査の成果	前原市教育委員会
前原市文化財調査報告書 第51集	前原市教育委員会
糸原岸田遺跡II	前原市教育委員会
福岡県前原市大字篠原字岸田所在遺跡の調査	前原市教育委員会
前原市文化財調査報告書 第52集	前原市教育委員会
井ノ浦古墳・辻ノ田古墳群 福岡県前原市大字富、本所在の遺跡の調査	前原市教育委員会
前原市文化財調査報告書 第53集	前原市教育委員会
糸原熊ノ後遺跡 福岡県前原市大字篠原字熊ノ後所在の遺跡	前原市教育委員会
前原市文化財調査報告書 第54集	前原市教育委員会
平原周辺遺跡 (5) 前原市文化財調査報告書 第56集	前原市教育委員会
直方市文化財調査報告書 第16集 広江窪跡	直方市教育委員会
<b>熊本県</b>	
池辺寺跡 発掘調査概報I	熊本市教育委員会
つづじヶ丘横穴群 発掘調査概報I	熊本市教育委員会
<b>大分県</b>	
小野・大庭遺跡 安岐町文化財調査報告書 第3集	大分県安岐町教育委員会
大分県内遺跡発掘調査概報1 1993	大分県教育委員会
大分県文化財調査報告 第88輯	大分県教育委員会
大分空港道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書II	大分県教育委員会
一般国道10号中津バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書 (3)	大分県教育委員会
一般国道10号宇佐道路埋蔵文化財発掘調査報告書 (1)	大分県教育委員会
一般国道210号日田バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報IV 上野第1遺跡 (東原、野間、平原地区) 1993	大分県教育委員会
一般国道210号日田バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報III 手崎遺跡、大部遺跡 1992	大分県教育委員会
上ノ原横穴墓群 I	大分県教育委員会
一般国道10号中津バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書 (2)	大分県教育委員会
上ノ原横穴墓群 II	大分県教育委員会
一般国道10号中津バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書 (2)	大分県教育委員会
上ノ原横穴墓群 写真図版編	大分県教育委員会
一般国道10号中津バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書 (2)	大分県教育委員会
府内城三ノ丸遺跡	大分県教育委員会
— 大分県共同庁舎 (仮称) 建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 —	大分県教育委員会
府内城三ノ丸遺跡II	大分県教育委員会
大分県共同庁舎前広場モニュメント建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 —	大分県教育委員会
一般国道210号日田バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報V 上野第1遺跡 (平原地区・米田地区)、上野第2遺跡、手崎遺跡 (2・3次)	大分県教育委員会
大分県埋蔵文化財年報2 1992年度版	大分県教育委員会
<b>宮崎県</b>	
えびの市埋蔵文化財調査報告書 第13集	えびの市教育委員会
原田・上江遺跡群 法光寺遺跡II	えびの市教育委員会
上江・池島地区県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要	えびの市教育委員会
えびの市埋蔵文化財調査報告書 第14集	えびの市教育委員会

書名							寄贈者等名						
田代地区遺跡群 上田代遺跡							宮崎県教育委員会						
中山間地域農村活性化総合設備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要							宮崎県教育委員会						
宮崎県文化財調査報告書 第37集							宮崎県教育委員会						
三納代地区遺跡群							宮崎県教育委員会						
城ノ下道路・柳原遺跡・志戸平遺跡（2次）							宮崎県教育委員会						
鬼付女川基地周辺障害防止対策事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							宮崎県教育委員会						
鳩巣（東霧島神社）遺跡							宮崎県教育委員会						
東霧島第4砂防ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							宮崎県教育委員会						
国術・都師・古寺跡等 範囲確認調査概要報告書III							宮崎県教育委員会						
平成5年度 農業基盤整備事業に伴う発掘調査概要報告書							宮崎県教育委員会						
県道向山・日之影線道路改良事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 田向遺跡・平谷遺跡							宮崎県教育委員会						
本地原遺跡							宮崎県教育委員会						
都市計画街路事業八幡通線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							宮崎県教育委員会						
九州環状自動車道（人吉～えびの間）建設工事にともなう埋蔵文化財調査報告書 第2集 野久首遺跡・平原遺跡・妙見遺跡							宮崎県教育委員会						
谷合第1遺跡 谷合第2遺跡 大塚遺跡							宮崎県教育委員会						
沿海南部地区広域農道建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 (2)							宮崎県教育委員会						
木山原遺跡							宮崎県教育委員会						
霧島南部2期地区広域農道建設工事に伴う発掘調査報告書							宮崎県兒湯郡木城町教育委員会						
木城町文化財調査報告書 第4集 高城路							宮崎県野尻町教育委員会						
野尻町文化財調査報告書 第6集 野尻町遺跡詳細分布調査報告							高崎町教育委員会						
高崎町文化財調査報告書 第5集 町内遺跡試掘調査													
<b>鹿児島県</b>													
埋文だより 第5号							鹿児島県立埋蔵文化財センター						
埋文だより 第6号							鹿児島県立埋蔵文化財センター						
<b>その他の</b>													
國説 徳島県の歴史							鈴安 河出 書博 房幸 新社氏						
兵庫県芦屋市 墓塚古墳							井上 和人 氏						
—表六甲城山群集墳中の一巨石墳の測量調査とその考証—							羽羽 山山 久久 男男 氏氏						
条里制研究の一覧点							羽岡 山田 久敏 男彦 氏氏						
—奈良盆地における条里地割の施工年代についての再検討— No.9							森森森 浩浩浩 一一一 氏氏氏						
徳島藩の分間村絵図・郡圖について 徳島地理学会論文集 1993年							森 浩一 氏						
江戸時代～明治初期の阿波国絵図について							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
「史窓」第24号、1994、徳島地方史研究会							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
国境緑絵図と元禄度阿波国分郡図							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
特別展図録 出作遺跡とそのマツリ							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
—古墳時代松山平野の祭祀と政治—							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
考古学と古代日本							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
同志社大学考古学シリーズVI 考古学と信仰 森 浩一編							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
同志社大学文学部考古学調査報告 第8冊 百花台遺跡							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
震仙・普賢岳北麓の後期旧石器時代遺跡の調査							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
同志社大学文学部考古学調査報告 第9冊 糸谷古墳群							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
—鳥取県若美郡国府町所在—							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
季刊 明日香風47							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
季刊 明日香風48							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
季刊 明日香風49							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
季刊 明日香風50							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
考古学セミナー 日本人類文化の起源 安藤政雄編							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
国際文化交流シンポジウム 東アジアにおける民族と文化的交流							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
日本最古の仏教壁画と白鳳寺院 上淀庵寺と彩色壁画概報							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
淀江町教育委員会編							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
日本最古の仏教壁画と白鳳寺院 上淀庵寺と彩色壁画概報							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
淀江町教育委員会編							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
中近世古道調査報告書I 朝鮮人街道							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
多田銀洞山と顔料							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						
続・多田銀洞山と顔料							水野野野野正正正正好 氏氏氏氏氏						

書名	寄贈者等名
日本のブルー 一幻の紺青一 江戸期鉱山で使われた粉碎道具 古代の環境と考古学	鶴田 荣一 鶴田 荣一 日下 雅義 氏氏氏

---

徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol. 6

—平成6年(1994)度—

平成7年7月1日

編集・発行 財団法人 徳島県埋蔵文化財センター  
〒779-01 徳島県板野郡板野町大伏字平山86番2  
TEL (0886) 72-4545 FAX (0886) 72-4550

印 刷 徳島県教育印刷課  
〒770 徳島市東沖洲2丁目1-13  
TEL (0886) 64-6776